

小規模企業景気動向調査 [2025年1月期調査]

～長引くコスト高により、先行きが不透明な状況である小規模企業景況～

<産業全体>

1月期の産業全体の景況は、売上額・採算DIがわずかに低下し、資金繰り・業況DIは不変であった。前年同月比で全てのDIがわずかに低下しており、仕入価格、人件費、燃料費等の様々なコスト高により、景気が改善しているとは言いがたい状況である。多くの業種において、物価高による消費者の節約志向の強まりが共通課題となっており、課題解決に向けた政府支援策を求める声が多い。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		9.3	7.4	▲1.9
採算	▲	16.4	▲17.5	▲1.1
資金繰り	▲	14.7	▲14.7	0.0
業況	▲	12.8	▲12.8	0.0

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)>業種により改善が見られるも、全体としては停滞気味の製造業

製造業は、売上額・資金繰りDIがわずかに上昇し、採算・業況DIはわずかに低下した。食料品関連は、全てのDIが低下した。昨年から継続して米の価格が高止まりしており、消費者のみならず事業者にも長期的な影響を及ぼしている。繊維関連は、全てのDIが上昇した。国による下請け法の改正に向けた動きから、価格転嫁を進めやすい状況になってきたとのコメントがあった。機械・金属関連は、取引先の業績悪化による受注減少について言及するコメントが複数あった。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		9.7	9.9	0.2
採算	▲	18.2	▲18.9	▲0.7
資金繰り	▲	15.5	▲15.0	0.5
業況	▲	14.3	▲14.8	▲0.5

<建設業>季節的な要因から一部で改善傾向が見られた建設業

建設業は、売上額・採算DIがわずかに低下、資金繰りDIはわずかに上昇し、業況DIは小幅に上昇した。暖冬であった昨年と比較して降雪が続いたことにより、除雪作業を請け負っている事業者は好況であった。他業種と比較して受注、売上については堅調な事業所が多い傾向が継続している中、増加傾向であったリフォーム需要が減り始めているとのコメントが一部あった。消費者の節約志向の影響が広がってきていることが窺える。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		12.5	11.1	▲1.4
採算	▲	15.8	▲16.5	▲0.7
資金繰り	▲	16.3	▲15.4	0.9
業況	▲	10.4	▲7.9	2.5

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>改善傾向から、小幅な悪化に転じた小売業

小売業は、売上額・採算DIが小幅に低下、資金繰り・業況DIはわずかに低下した。衣料品、耐久消費財関連はともに増加したDIがなかった。季節的な要因として、年末需要が落ち着いたことがDIに影響を与えたと思われる。前月から引き続き、いかにして消費者の消費行動を促進させるかに苦心している状況が窺えるコメントが多かった。食料品関連は採算DIが直近1年間で最低値であった。米や野菜等の生鮮食品の値上がりの影響がかなり大きい状況である。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		6.1	2.4	▲3.7
採算	▲	18.6	▲21.7	▲3.1
資金繰り	▲	16.9	▲17.4	▲0.5
業況	▲	18.4	▲19.4	▲1.0

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>業界全体で足踏み状態が続くサービス業

サービス業は、売上額DIが小幅に低下、資金繰り・業況DIはわずかに低下した。また、前月と同様に前年同月比で見ると全DIが低下した。旅館関連は、前年同月比で全てのDIが低下した。客数は増えているものの、素泊まり等による客単価の減少および各種コストの増加により苦しい状況とのコメントが多かった。クリーニング、理・美容関連はともに売上額・資金繰り・業況DIが低下した。両業種ともに顧客の来店頻度の減少が目立つ中、打開策が見出せていない状況である。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		9.1	6.1	▲3.0
採算	▲	13.1	▲13.0	0.1
資金繰り	▲	10.2	▲10.7	▲0.5
業況	▲	8.0	▲9.0	▲1.0

調査概要

・調査対象: 全国303商工会の経営指導員(有効回答数:236/回答率77.9%)

・調査時点: 2025年1月末

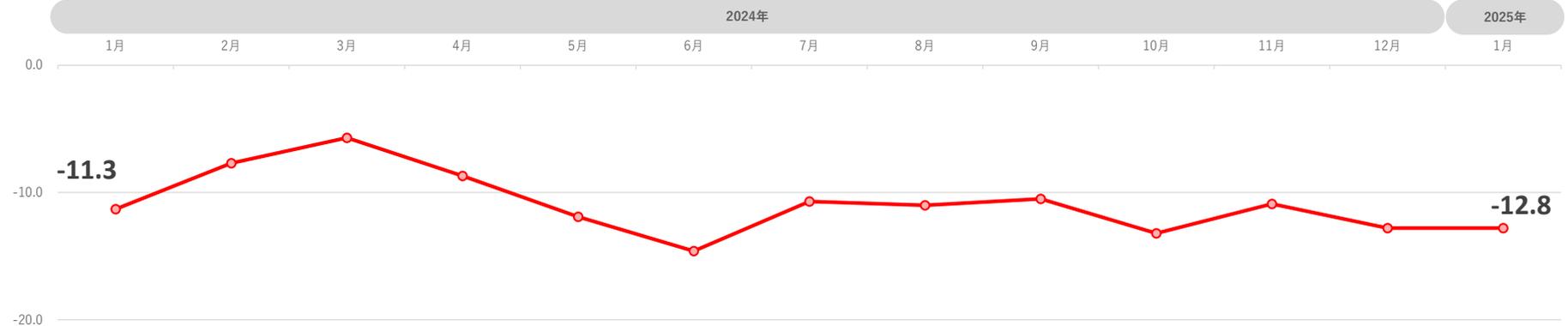
・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～



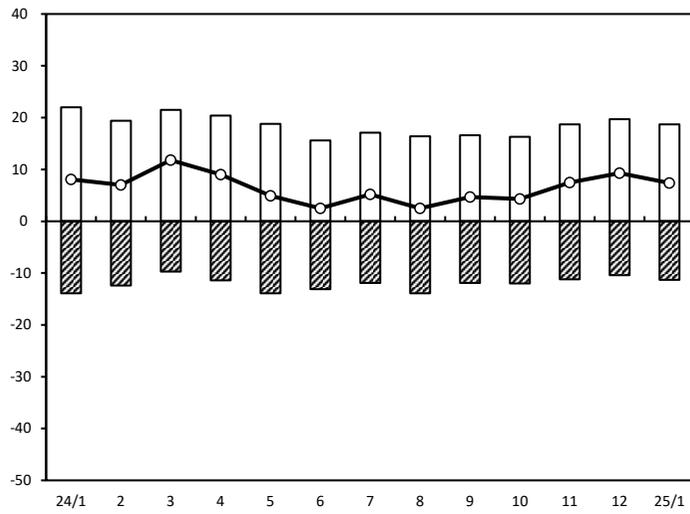
産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



小規模企業景気動向調査(2025年1月期)

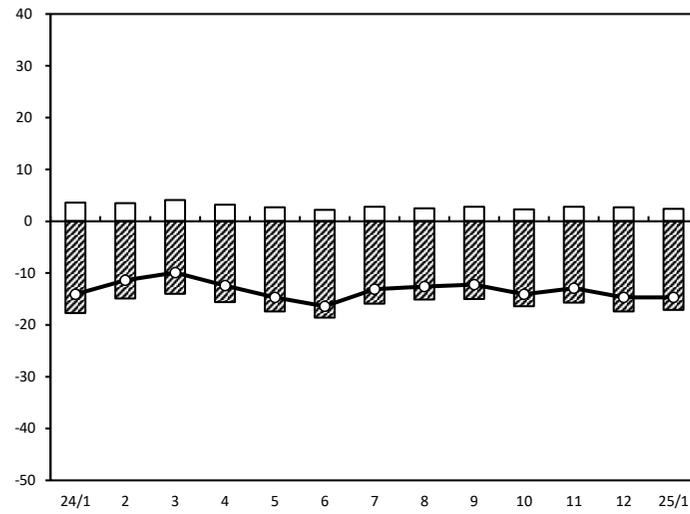
産業全体(前年同月比)

売上額



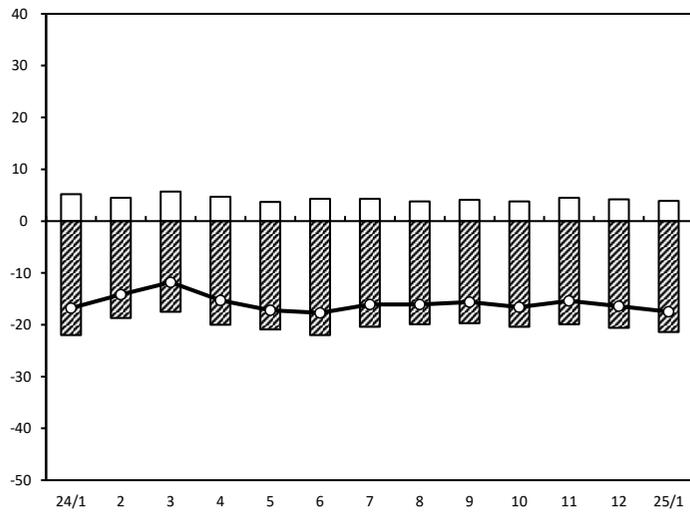
(年月)

資金繰り



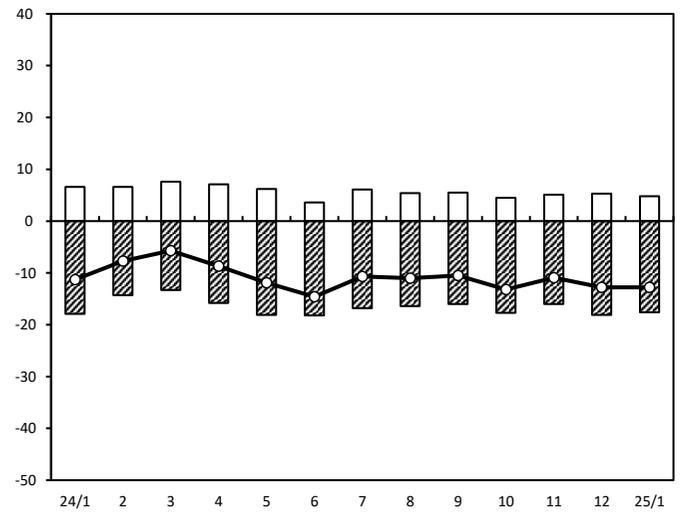
(年月)

採算



(年月)

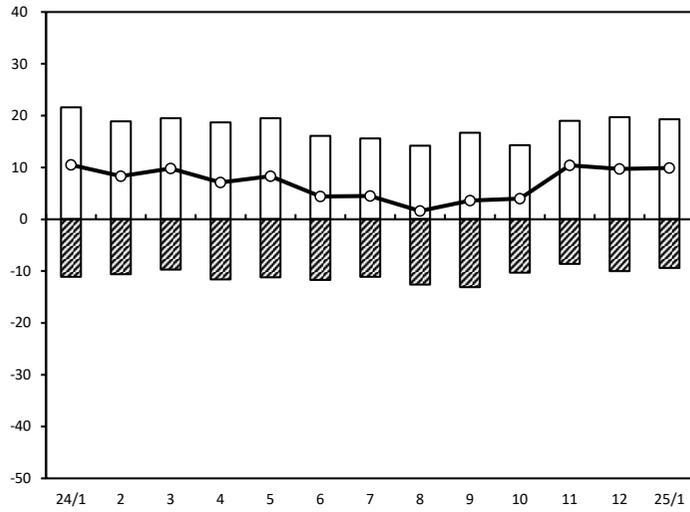
業界の業況



(年月)

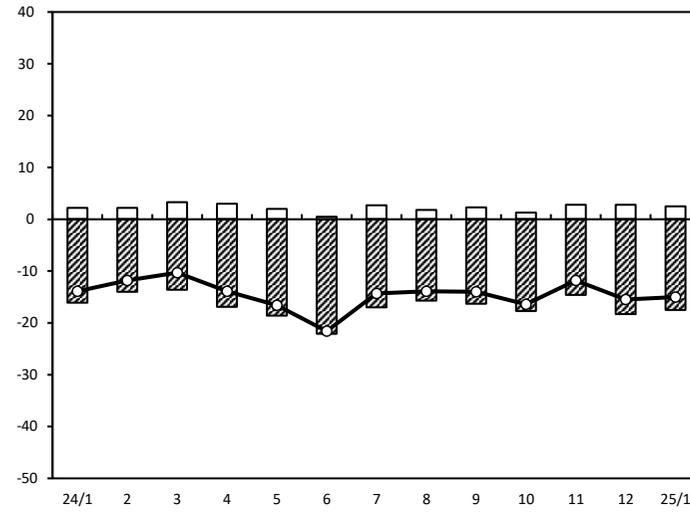
製 造 業(前年同月比)

売上額



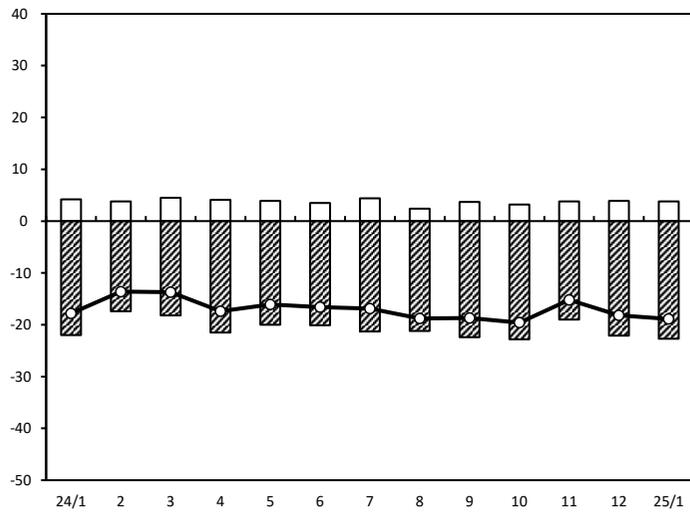
(年月)

資金繰り



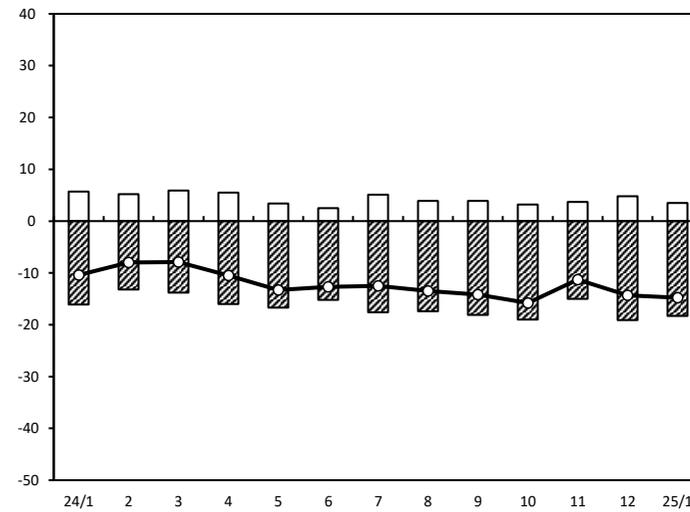
(年月)

採算



(年月)

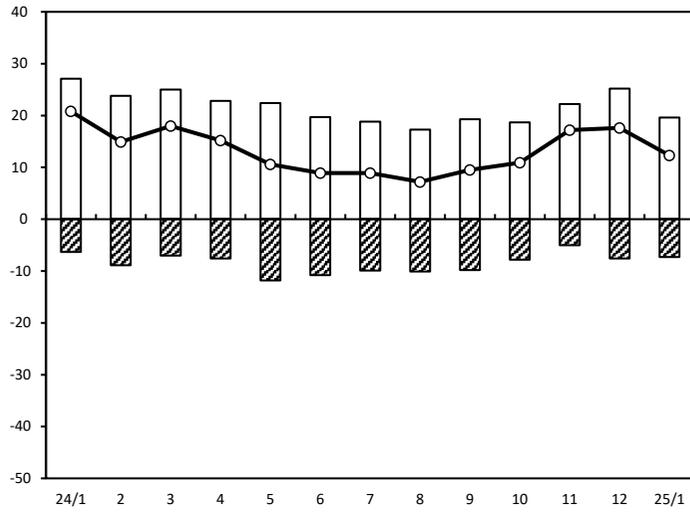
業界の業況



(年月)

製 造 業【食料品】（前年同月比）

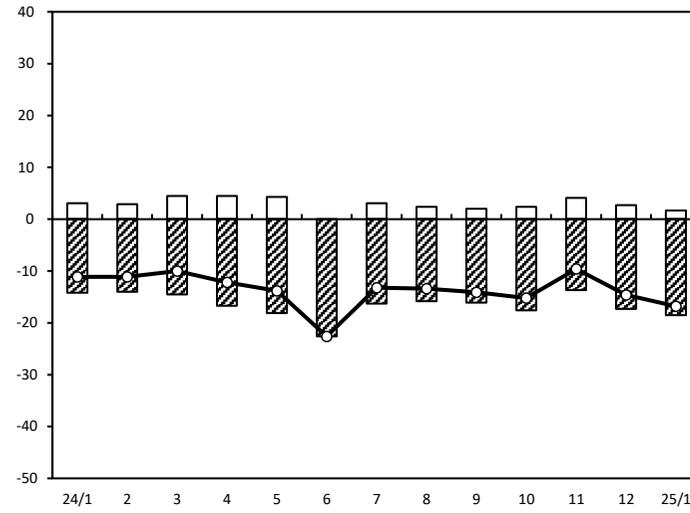
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/1	27.1	-6.3	20.8
2	23.8	-8.9	14.9
3	25.0	-7.0	18.0
4	22.8	-7.6	15.2
5	22.4	-11.8	10.6
6	19.7	-10.8	8.9
7	18.8	-9.9	8.9
8	17.3	-10.1	7.2
9	19.3	-9.8	9.5
10	18.7	-7.8	10.9
11	22.2	-5.0	17.2
12	25.2	-7.6	17.6
25/1	19.6	-7.3	12.3

(年月)

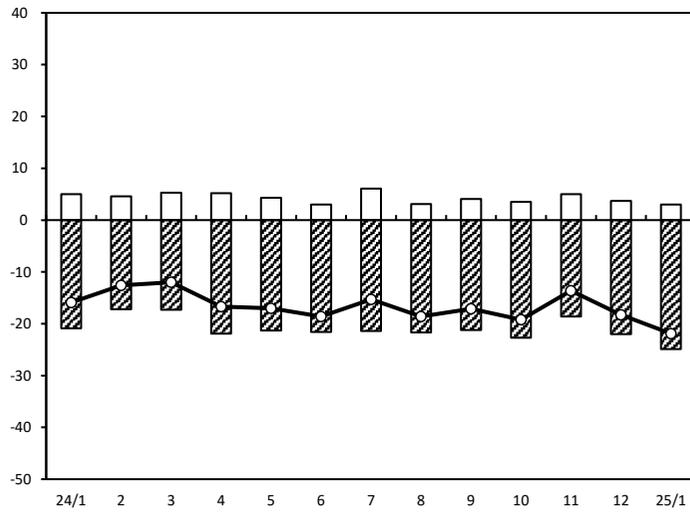
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/1	3.1	-14.2	-11.1
2	2.9	-14.0	-11.1
3	4.5	-14.5	-10.0
4	4.5	-16.7	-12.2
5	4.3	-18.1	-13.8
6	0.0	-22.6	-22.6
7	3.1	-16.3	-13.2
8	2.4	-15.8	-13.4
9	2.0	-16.1	-14.1
10	2.4	-17.6	-15.2
11	4.1	-13.7	-9.6
12	2.7	-17.3	-14.6
25/1	1.7	-18.5	-16.8

(年月)

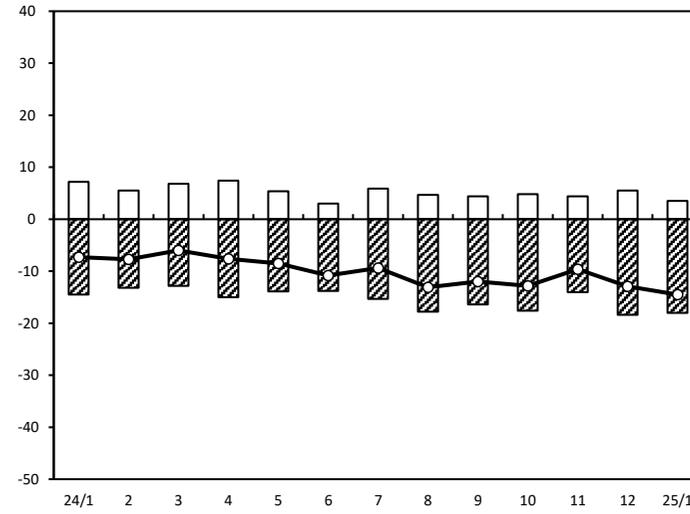
採算



年/月	増加	減少	DI
24/1	5.0	-20.9	-15.9
2	4.6	-17.2	-12.6
3	5.3	-17.3	-12.0
4	5.2	-21.9	-16.7
5	4.3	-21.3	-17.0
6	3.0	-21.6	-18.6
7	6.1	-21.4	-15.3
8	3.1	-21.7	-18.6
9	4.1	-21.2	-17.1
10	3.5	-22.7	-19.2
11	5.0	-18.6	-13.6
12	3.7	-22.0	-18.3
25/1	3.0	-24.9	-21.9

(年月)

業界の業況

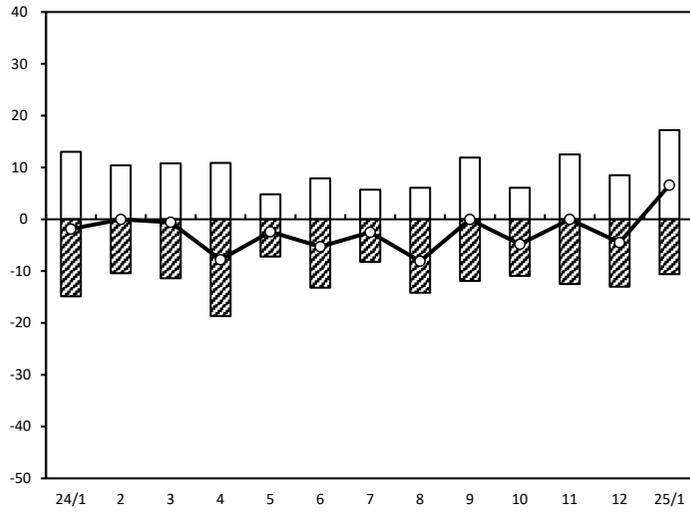


年/月	増加	減少	DI
24/1	7.2	-14.5	-7.3
2	5.5	-13.2	-7.7
3	6.8	-12.8	-6.0
4	7.4	-15.0	-7.6
5	5.4	-13.9	-8.5
6	3.0	-13.8	-10.8
7	5.9	-15.3	-9.4
8	4.7	-17.8	-13.1
9	4.4	-16.4	-12.0
10	4.8	-17.6	-12.8
11	4.4	-14.0	-9.6
12	5.5	-18.4	-12.9
25/1	3.5	-18.0	-14.5

(年月)

製 造 業【繊維】（前年同月比）

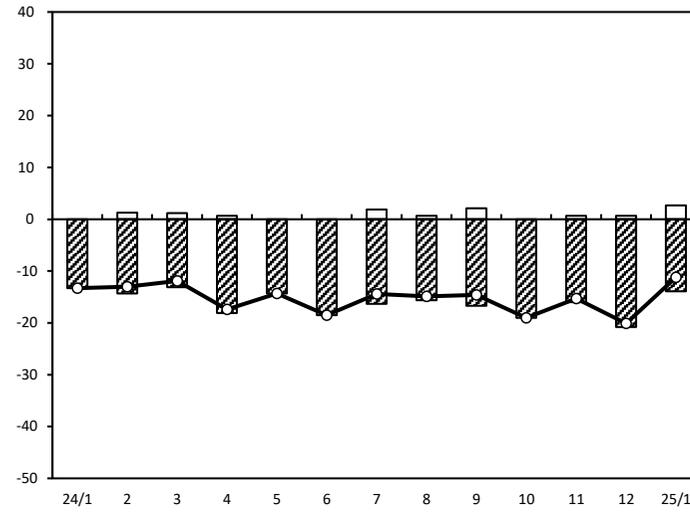
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/1	13.0	-14.9	-1.9
2	10.4	-10.4	0.0
3	10.8	-11.4	-0.6
4	10.9	-18.7	-7.8
5	4.8	-7.2	-2.4
6	7.9	-13.2	-5.3
7	5.7	-8.2	-2.5
8	6.1	-14.2	-8.1
9	11.9	-11.9	0.0
10	6.1	-10.9	-4.8
11	12.5	-12.5	0.0
12	8.5	-13.0	-4.5
25/1	17.2	-10.6	6.6

(年月)

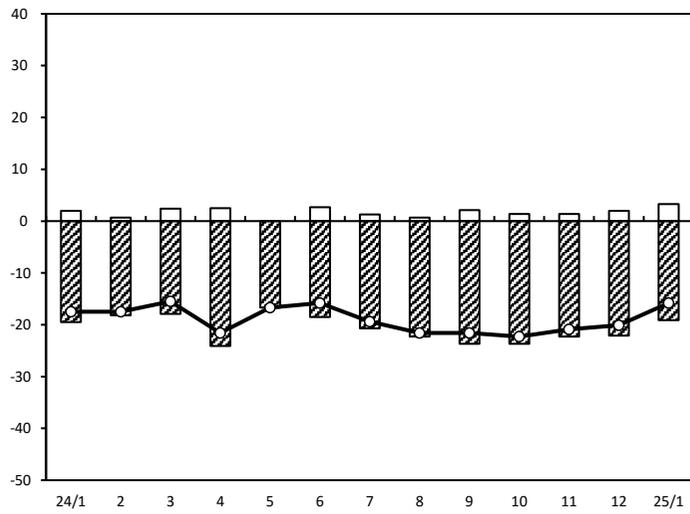
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/1	0.0	-13.3	-13.3
2	1.3	-14.3	-13.0
3	1.2	-13.1	-11.9
4	0.7	-18.1	-17.4
5	0.0	-14.3	-14.3
6	0.0	-18.5	-18.5
7	1.9	-16.3	-14.4
8	0.7	-15.6	-14.9
9	2.1	-16.7	-14.6
10	0.0	-19.0	-19.0
11	0.7	-16.0	-15.3
12	0.7	-20.8	-20.1
25/1	2.7	-13.9	-11.2

(年月)

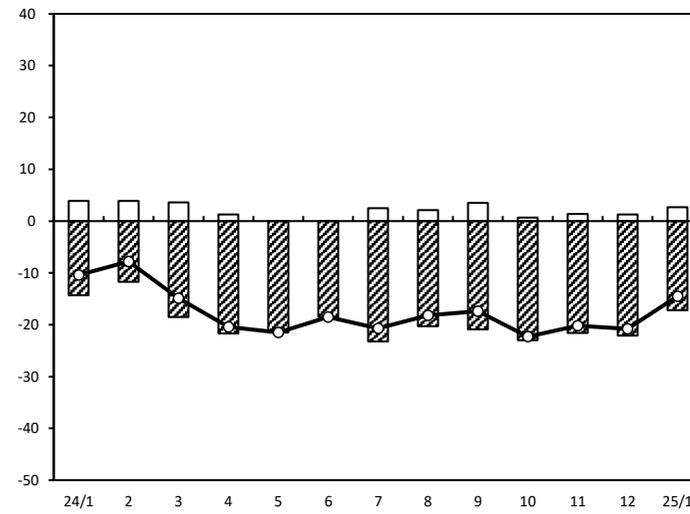
採算



年/月	増加	減少	DI
24/1	2.0	-19.5	-17.5
2	0.7	-18.2	-17.5
3	2.4	-17.9	-15.5
4	2.5	-24.1	-21.6
5	0.0	-16.7	-16.7
6	2.7	-18.5	-15.8
7	1.3	-20.7	-19.4
8	0.7	-22.3	-21.6
9	2.1	-23.7	-21.6
10	1.4	-23.7	-22.3
11	1.4	-22.3	-20.9
12	2.0	-22.1	-20.1
25/1	3.3	-19.1	-15.8

(年月)

業界の業況

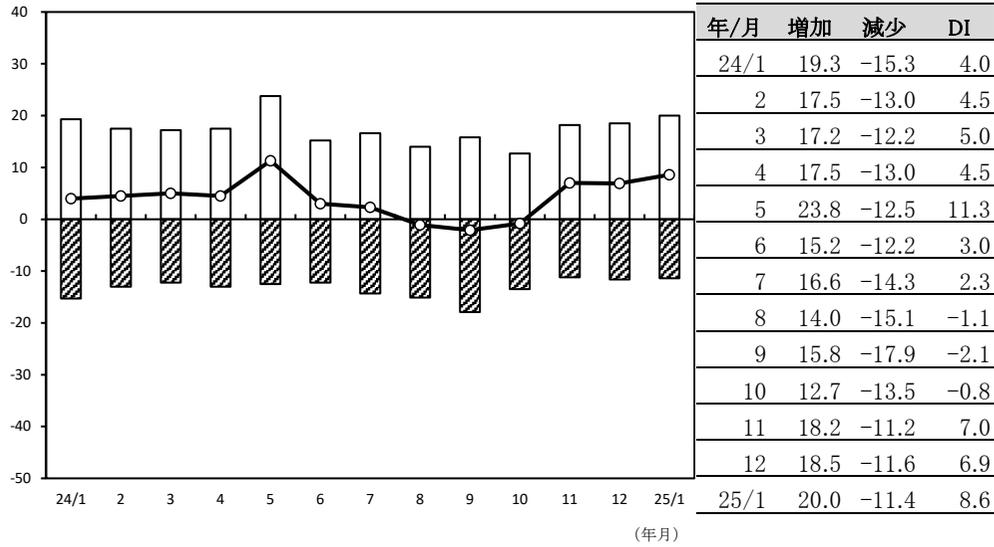


年/月	増加	減少	DI
24/1	3.9	-14.3	-10.4
2	3.9	-11.7	-7.8
3	3.6	-18.5	-14.9
4	1.3	-21.7	-20.4
5	0.0	-21.5	-21.5
6	0.0	-18.5	-18.5
7	2.5	-23.2	-20.7
8	2.1	-20.3	-18.2
9	3.5	-20.9	-17.4
10	0.7	-23.0	-22.3
11	1.4	-21.6	-20.2
12	1.3	-22.1	-20.8
25/1	2.7	-17.2	-14.5

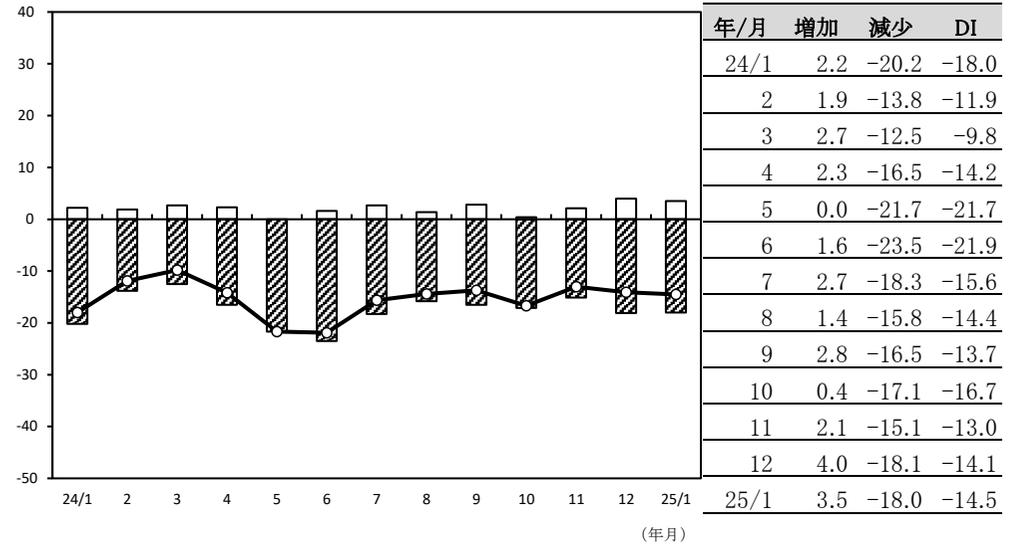
(年月)

製 造 業【機械・金属】（前年同月比）

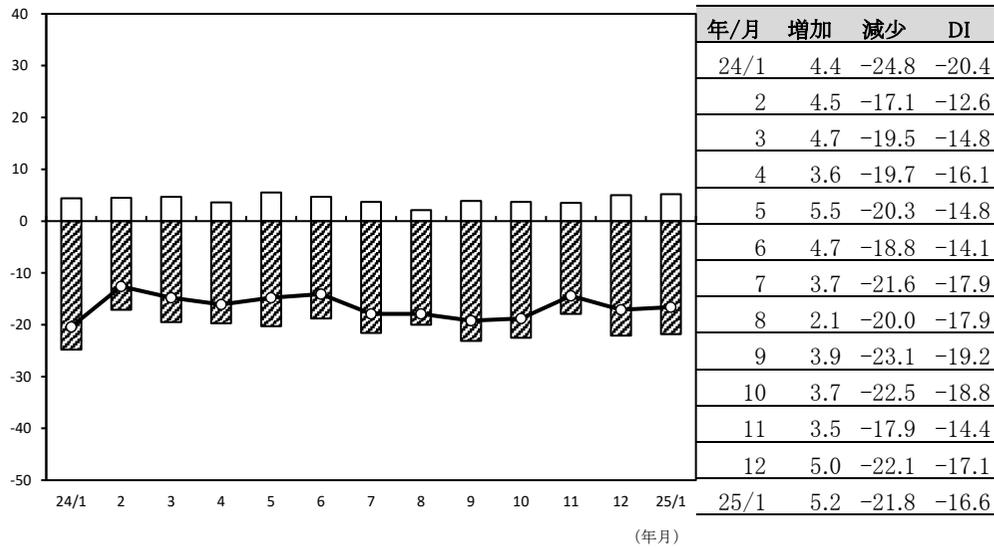
売上額



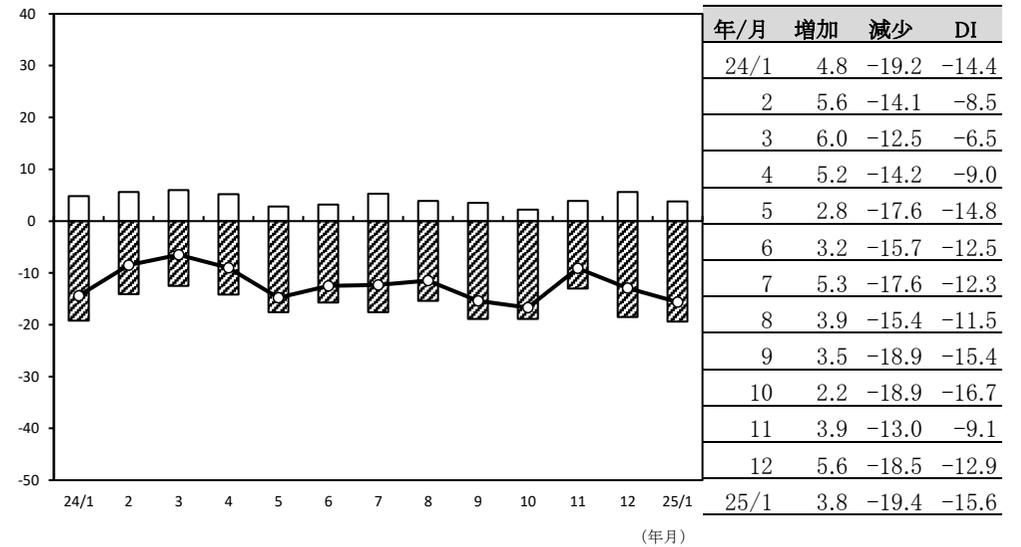
資金繰り



採算

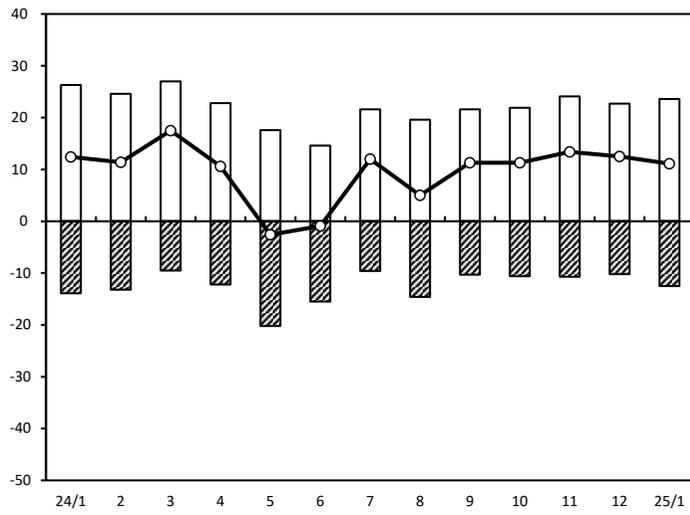


業界の業況



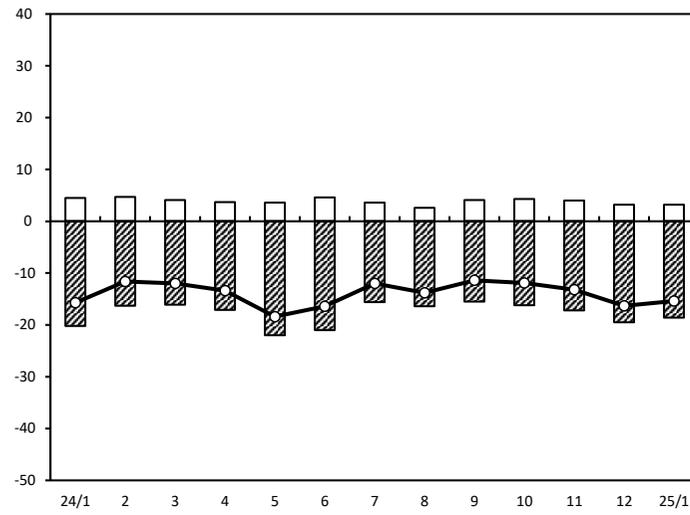
建設業(前年同月比)

売上額



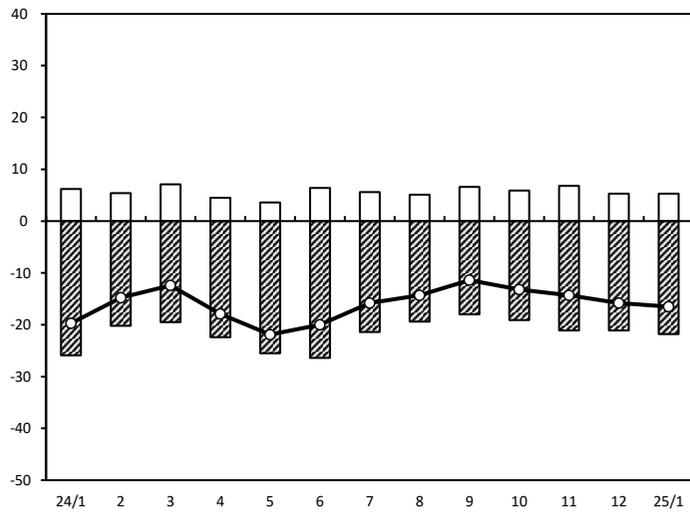
(年月)

資金繰り



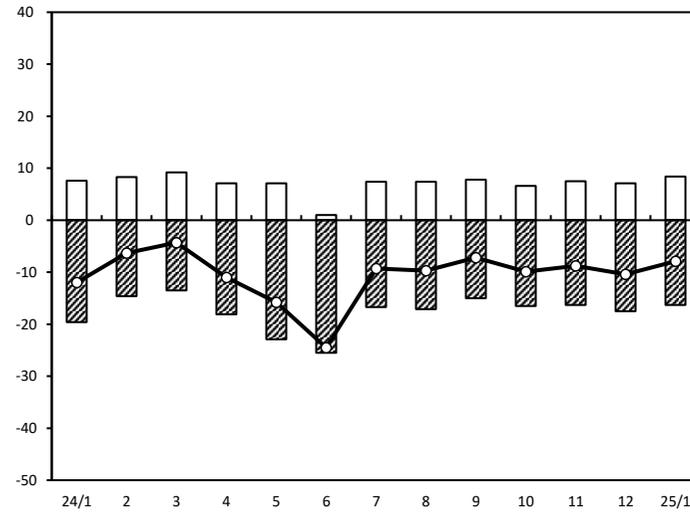
(年月)

採算



(年月)

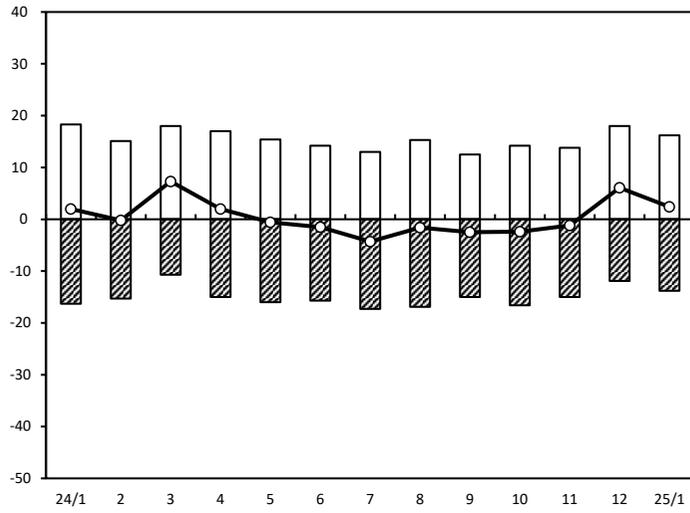
業界の業況



(年月)

小 売 業(前年同月比)

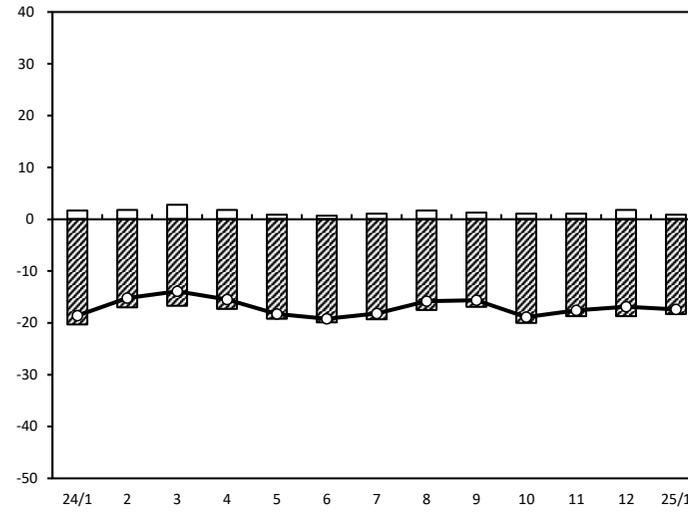
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/1	18.3	-16.3	2.0
2	15.1	-15.3	-0.2
3	18.0	-10.7	7.3
4	17.0	-15.0	2.0
5	15.4	-16.0	-0.6
6	14.2	-15.7	-1.5
7	13.0	-17.3	-4.3
8	15.3	-16.9	-1.6
9	12.5	-15.0	-2.5
10	14.2	-16.6	-2.4
11	13.8	-15.0	-1.2
12	18.0	-11.9	6.1
25/1	16.2	-13.8	2.4

(年月)

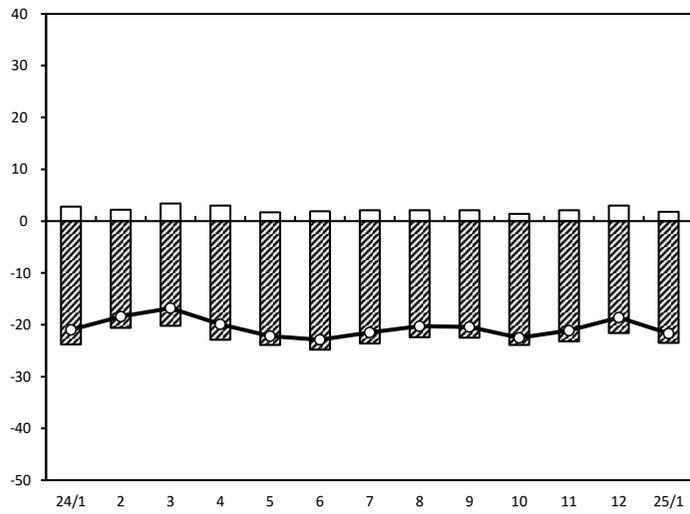
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/1	1.7	-20.3	-18.6
2	1.8	-17.0	-15.2
3	2.8	-16.7	-13.9
4	1.8	-17.3	-15.5
5	0.9	-19.2	-18.3
6	0.7	-19.9	-19.2
7	1.1	-19.3	-18.2
8	1.7	-17.5	-15.8
9	1.3	-16.9	-15.6
10	1.1	-20.0	-18.9
11	1.1	-18.7	-17.6
12	1.8	-18.7	-16.9
25/1	0.9	-18.3	-17.4

(年月)

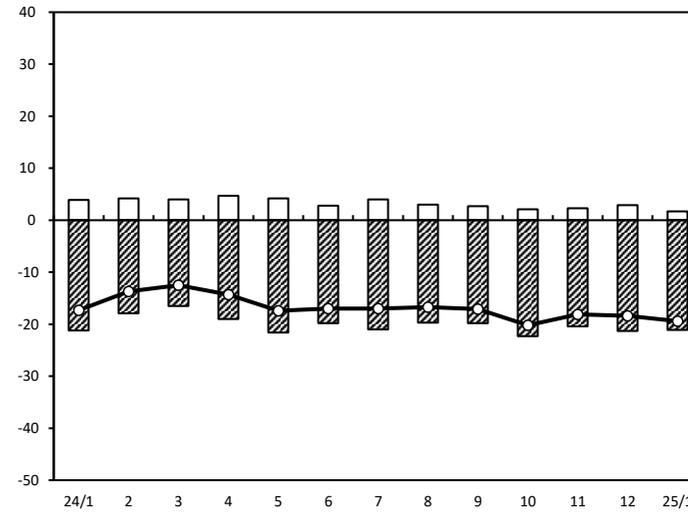
採算



年/月	増加	減少	DI
24/1	2.8	-23.8	-21.0
2	2.2	-20.6	-18.4
3	3.4	-20.2	-16.8
4	3.0	-22.9	-19.9
5	1.7	-23.9	-22.2
6	1.9	-24.8	-22.9
7	2.1	-23.6	-21.5
8	2.1	-22.4	-20.3
9	2.1	-22.5	-20.4
10	1.4	-23.9	-22.5
11	2.1	-23.2	-21.1
12	3.0	-21.6	-18.6
25/1	1.8	-23.5	-21.7

(年月)

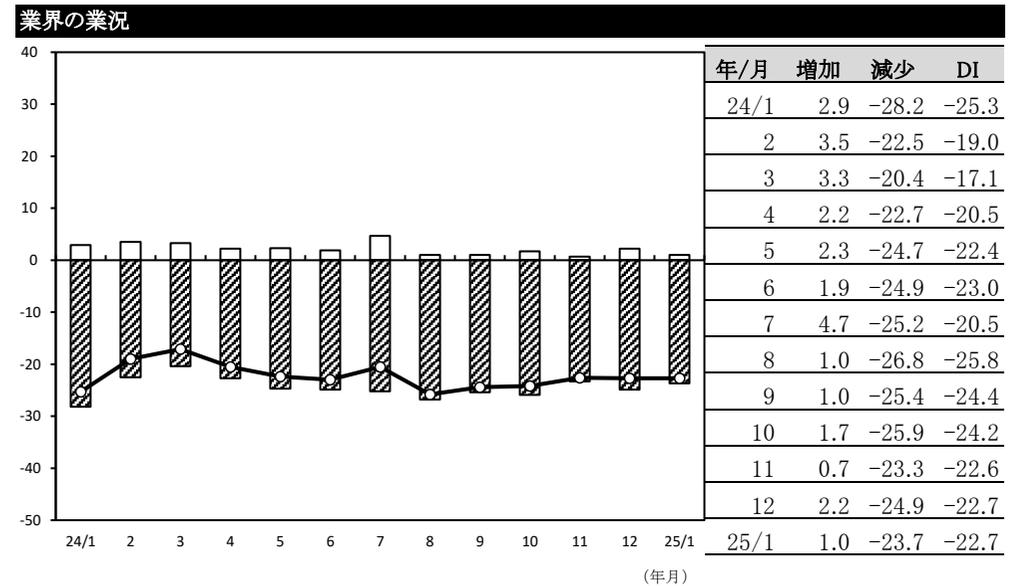
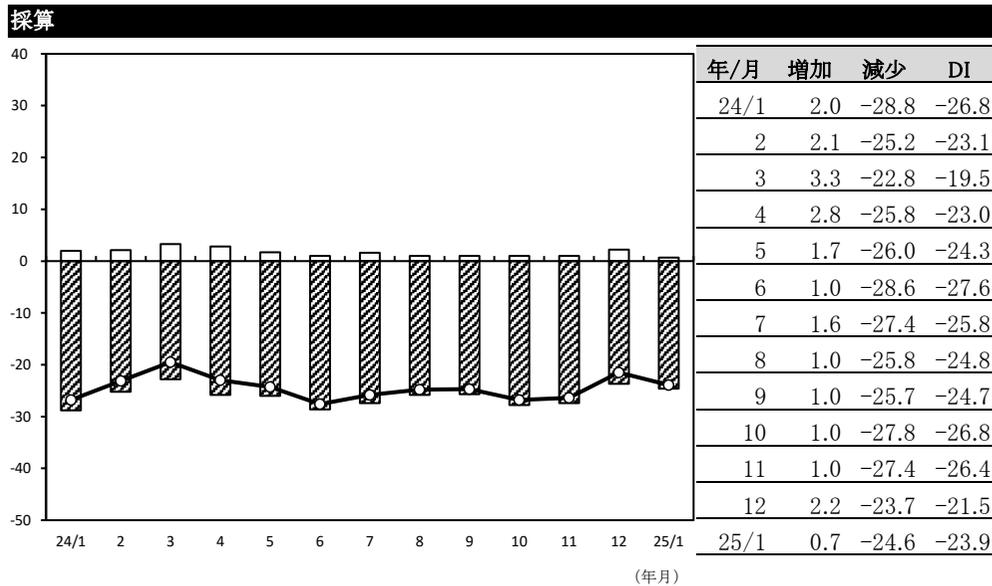
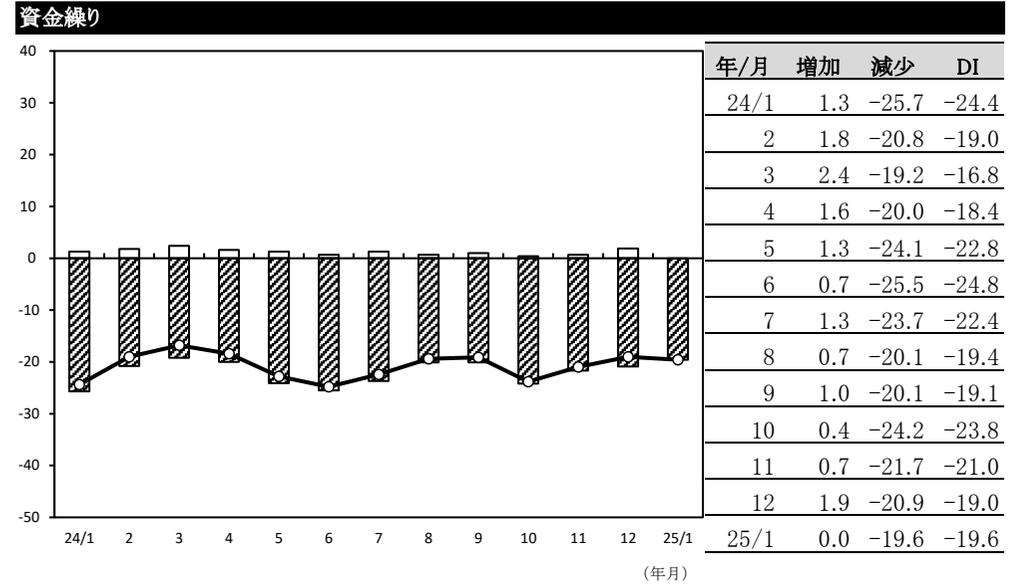
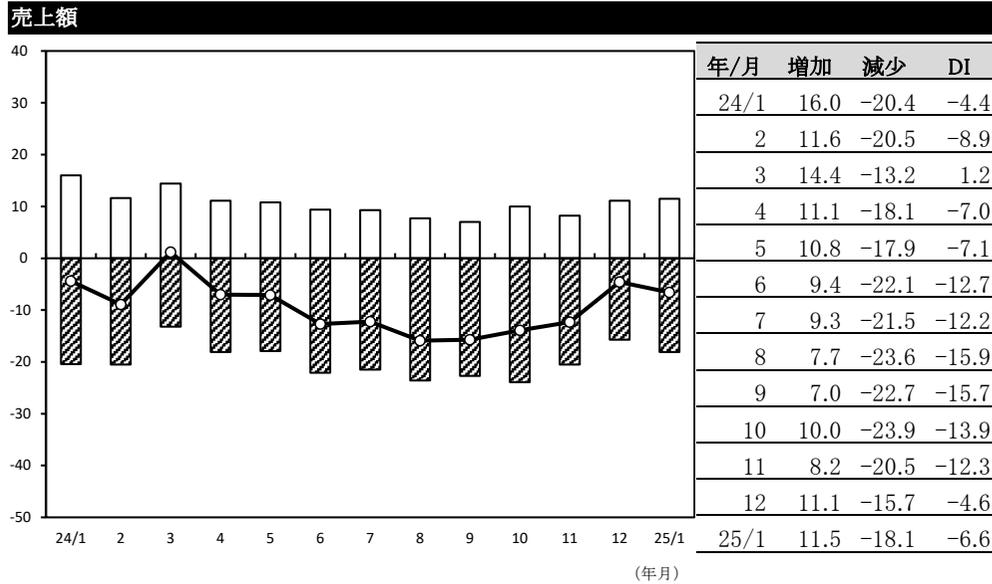
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/1	3.9	-21.2	-17.3
2	4.2	-17.9	-13.7
3	4.0	-16.5	-12.5
4	4.7	-19.0	-14.3
5	4.2	-21.6	-17.4
6	2.8	-19.8	-17.0
7	4.0	-21.0	-17.0
8	3.0	-19.7	-16.7
9	2.7	-19.8	-17.1
10	2.1	-22.3	-20.2
11	2.3	-20.4	-18.1
12	2.9	-21.3	-18.4
25/1	1.7	-21.1	-19.4

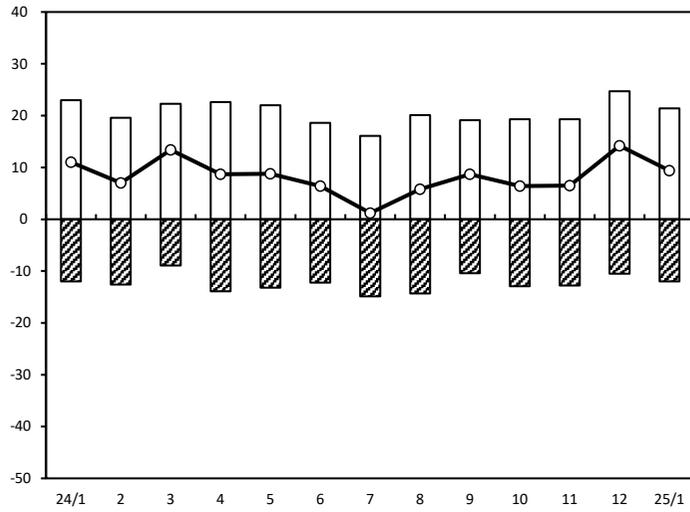
(年月)

小 売 業 【衣料品】 (前年同月比)



小売業【食料品】（前年同月比）

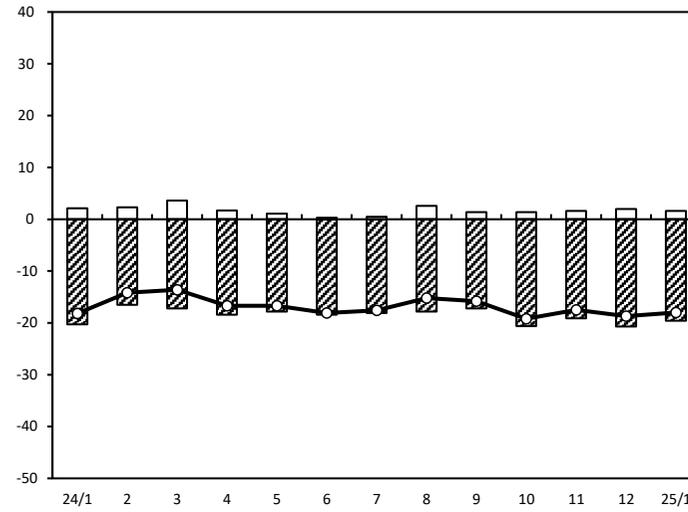
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/1	23.0	-12.0	11.0
2	19.6	-12.6	7.0
3	22.3	-8.9	13.4
4	22.6	-13.9	8.7
5	22.0	-13.2	8.8
6	18.6	-12.2	6.4
7	16.1	-14.9	1.2
8	20.1	-14.3	5.8
9	19.1	-10.4	8.7
10	19.3	-12.9	6.4
11	19.3	-12.8	6.5
12	24.7	-10.5	14.2
25/1	21.4	-12.0	9.4

(年月)

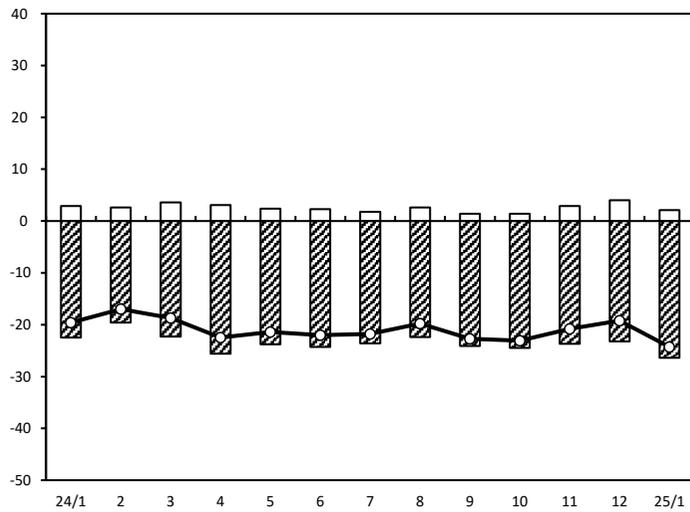
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/1	2.1	-20.3	-18.2
2	2.3	-16.5	-14.2
3	3.6	-17.2	-13.6
4	1.7	-18.4	-16.7
5	1.1	-17.8	-16.7
6	0.3	-18.4	-18.1
7	0.5	-18.1	-17.6
8	2.6	-17.8	-15.2
9	1.4	-17.2	-15.8
10	1.4	-20.6	-19.2
11	1.6	-19.1	-17.5
12	2.0	-20.7	-18.7
25/1	1.6	-19.6	-18.0

(年月)

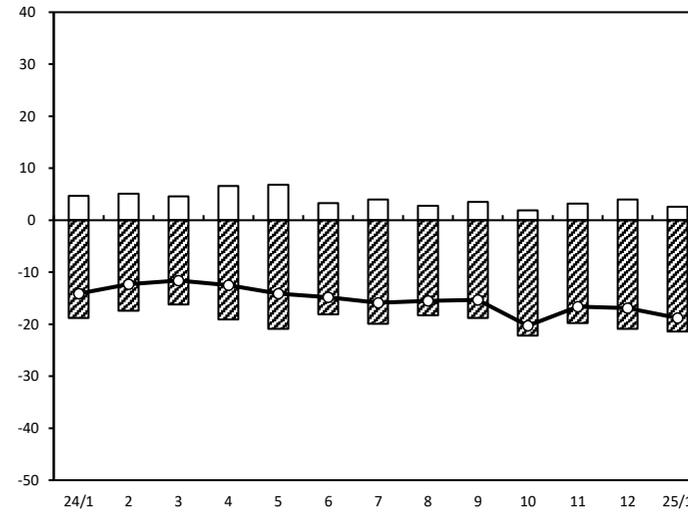
採算



年/月	増加	減少	DI
24/1	2.9	-22.5	-19.6
2	2.6	-19.6	-17.0
3	3.6	-22.3	-18.7
4	3.1	-25.6	-22.5
5	2.4	-23.8	-21.4
6	2.3	-24.3	-22.0
7	1.8	-23.6	-21.8
8	2.6	-22.4	-19.8
9	1.4	-24.1	-22.7
10	1.4	-24.5	-23.1
11	2.9	-23.7	-20.8
12	4.0	-23.2	-19.2
25/1	2.1	-26.4	-24.3

(年月)

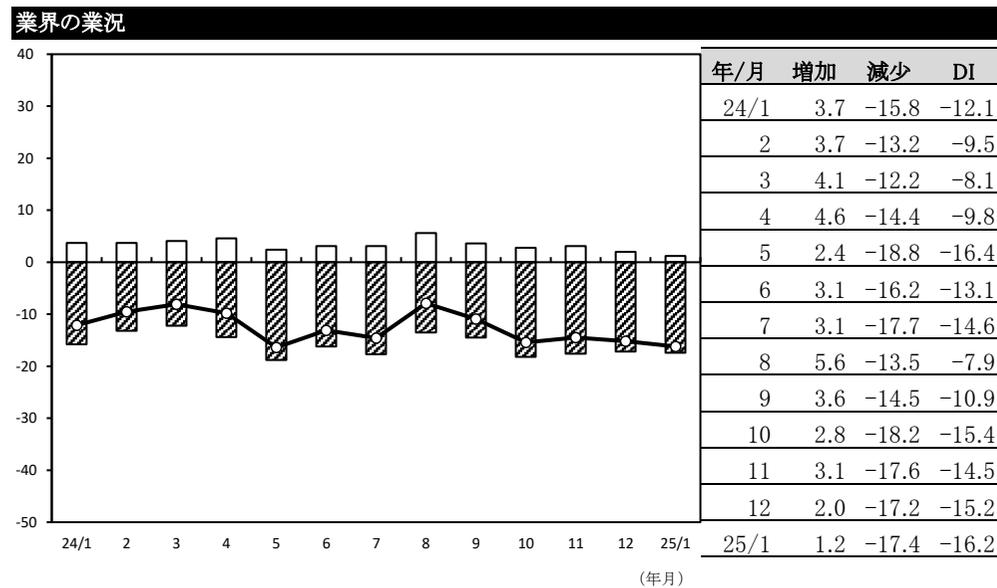
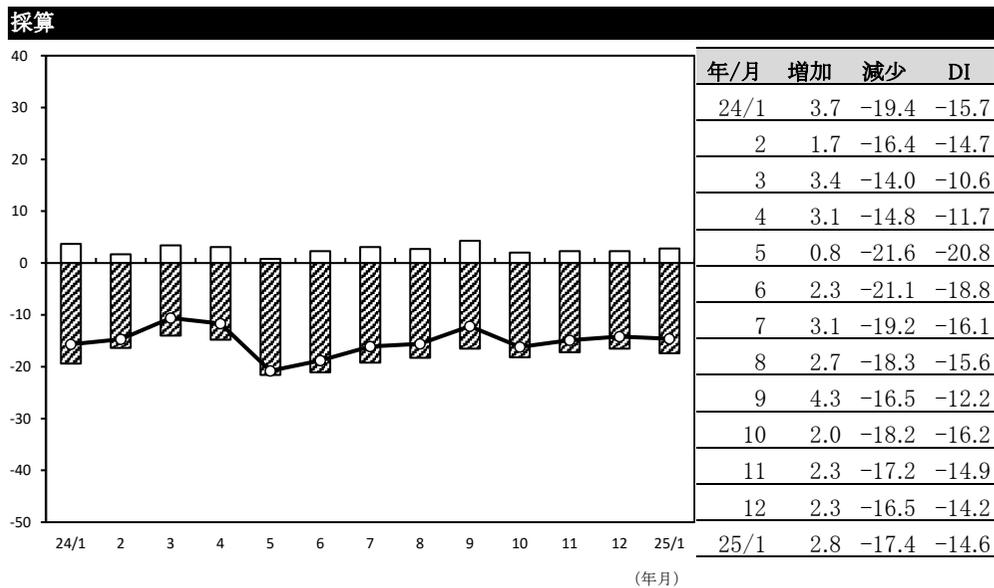
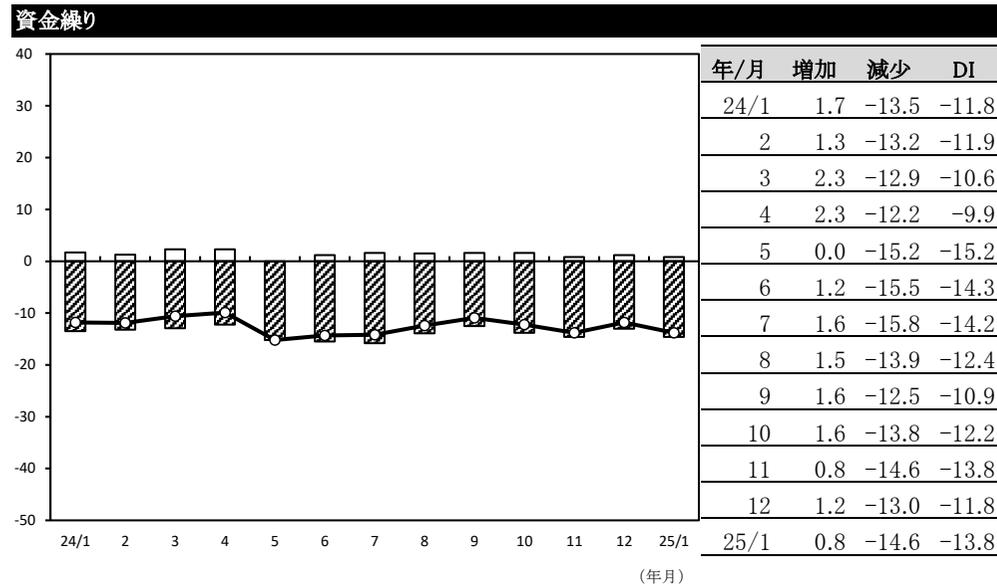
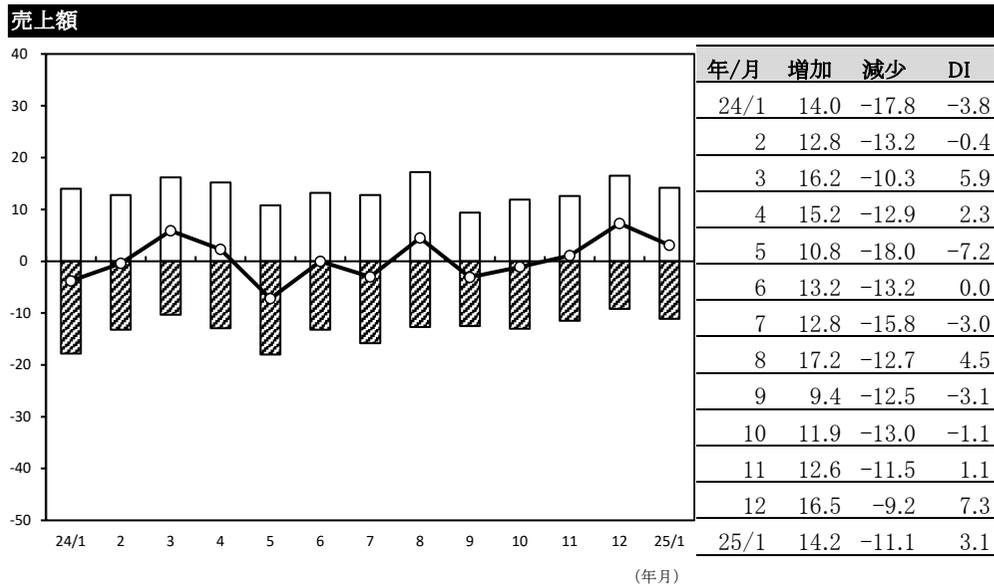
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/1	4.7	-18.8	-14.1
2	5.1	-17.4	-12.3
3	4.6	-16.2	-11.6
4	6.6	-19.1	-12.5
5	6.8	-20.9	-14.1
6	3.3	-18.1	-14.8
7	4.0	-19.9	-15.9
8	2.8	-18.3	-15.5
9	3.5	-18.8	-15.3
10	1.9	-22.2	-20.3
11	3.2	-19.8	-16.6
12	4.0	-20.9	-16.9
25/1	2.6	-21.4	-18.8

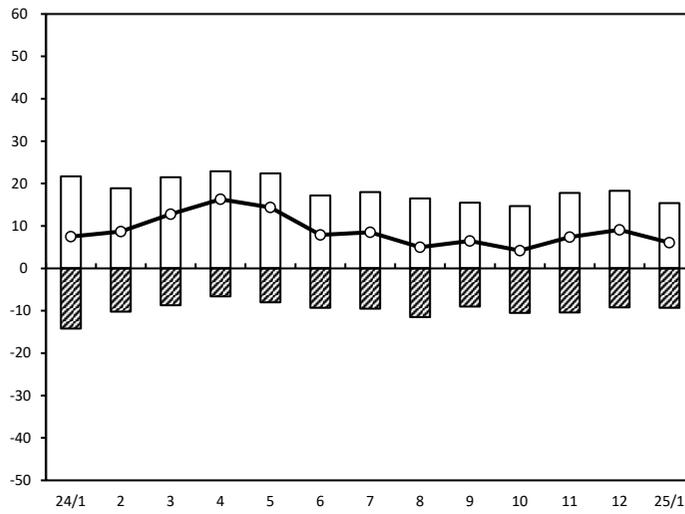
(年月)

小 売 業 【耐久消費財】（前年同月比）



サービス業(前年同月比)

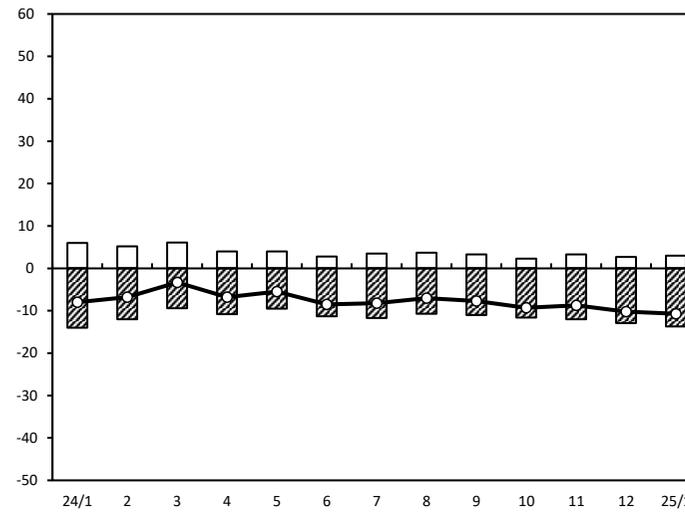
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/1	21.7	-14.2	7.5
2	18.9	-10.2	8.7
3	21.5	-8.7	12.8
4	22.9	-6.6	16.3
5	22.4	-8.0	14.4
6	17.2	-9.3	7.9
7	18.0	-9.5	8.5
8	16.5	-11.5	5.0
9	15.5	-9.0	6.5
10	14.7	-10.5	4.2
11	17.8	-10.4	7.4
12	18.3	-9.2	9.1
25/1	15.4	-9.3	6.1

(年月)

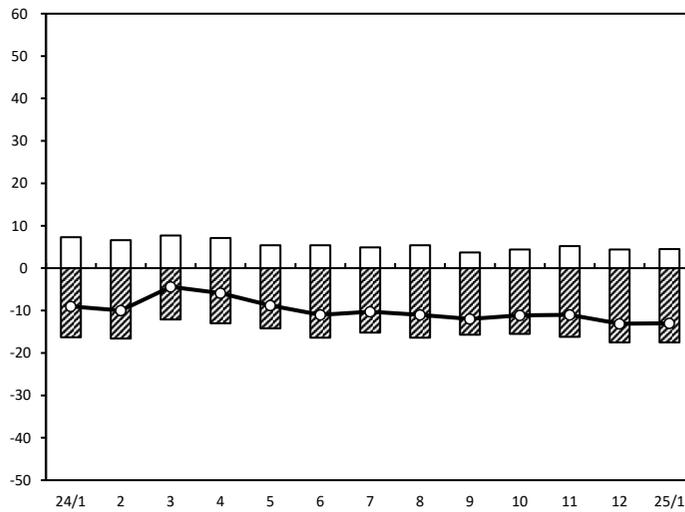
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/1	6.0	-14.0	-8.0
2	5.2	-12.0	-6.8
3	6.1	-9.4	-3.3
4	4.0	-10.8	-6.8
5	4.0	-9.5	-5.5
6	2.8	-11.3	-8.5
7	3.5	-11.7	-8.2
8	3.7	-10.7	-7.0
9	3.3	-11.0	-7.7
10	2.3	-11.6	-9.3
11	3.3	-12.0	-8.7
12	2.7	-12.9	-10.2
25/1	3.0	-13.7	-10.7

(年月)

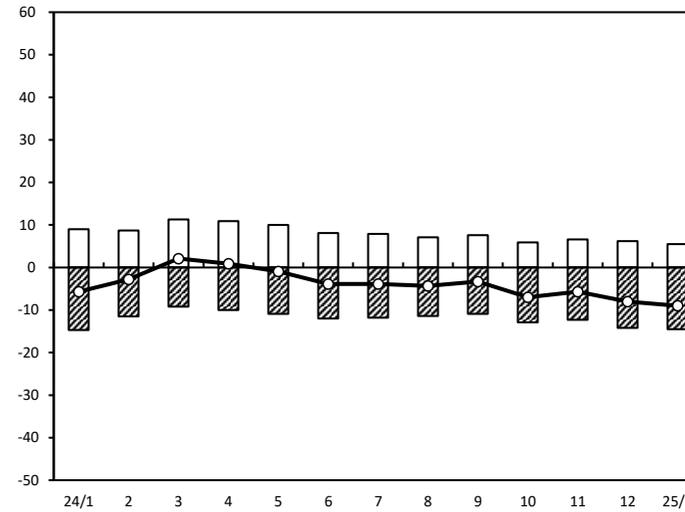
採算



年/月	増加	減少	DI
24/1	7.3	-16.3	-9.0
2	6.6	-16.6	-10.0
3	7.7	-12.1	-4.4
4	7.1	-13.0	-5.9
5	5.4	-14.2	-8.8
6	5.4	-16.4	-11.0
7	4.9	-15.2	-10.3
8	5.4	-16.4	-11.0
9	3.7	-15.7	-12.0
10	4.4	-15.5	-11.1
11	5.2	-16.2	-11.0
12	4.4	-17.5	-13.1
25/1	4.5	-17.5	-13.0

(年月)

業界の業況

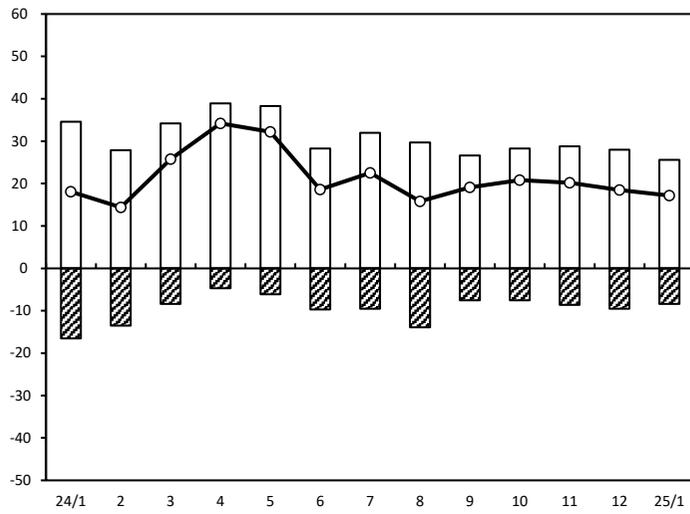


年/月	増加	減少	DI
24/1	9.0	-14.7	-5.7
2	8.7	-11.5	-2.8
3	11.3	-9.2	2.1
4	10.9	-10.0	0.9
5	10.0	-10.9	-0.9
6	8.1	-12.0	-3.9
7	7.9	-11.8	-3.9
8	7.1	-11.4	-4.3
9	7.6	-10.9	-3.3
10	5.9	-12.9	-7.0
11	6.6	-12.3	-5.7
12	6.2	-14.2	-8.0
25/1	5.5	-14.5	-9.0

(年月)

サービス業【旅館】（前年同月比）

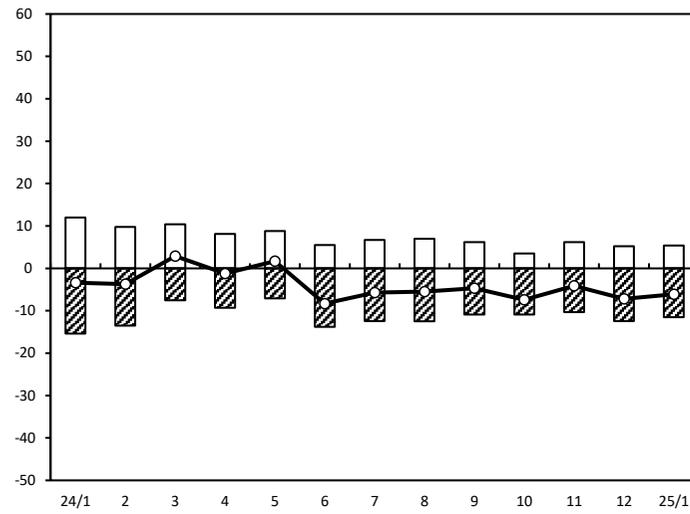
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/1	34.6	-16.5	18.1
2	27.9	-13.5	14.4
3	34.2	-8.4	25.8
4	38.9	-4.7	34.2
5	38.3	-6.1	32.2
6	28.3	-9.7	18.6
7	32.0	-9.5	22.5
8	29.7	-13.9	15.8
9	26.6	-7.5	19.1
10	28.3	-7.5	20.8
11	28.8	-8.6	20.2
12	28.0	-9.5	18.5
25/1	25.6	-8.4	17.2

(年月)

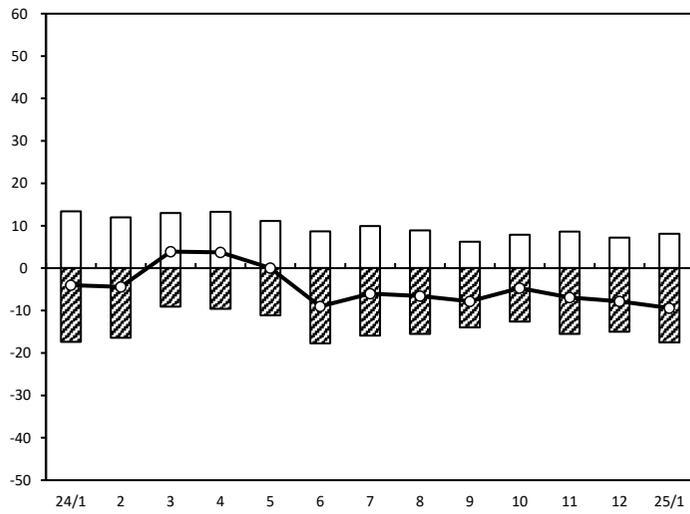
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/1	12.0	-15.4	-3.4
2	9.8	-13.5	-3.7
3	10.4	-7.5	2.9
4	8.1	-9.3	-1.2
5	8.8	-7.1	1.7
6	5.5	-13.8	-8.3
7	6.7	-12.4	-5.7
8	7.0	-12.5	-5.5
9	6.2	-10.9	-4.7
10	3.5	-10.9	-7.4
11	6.2	-10.3	-4.1
12	5.2	-12.4	-7.2
25/1	5.4	-11.5	-6.1

(年月)

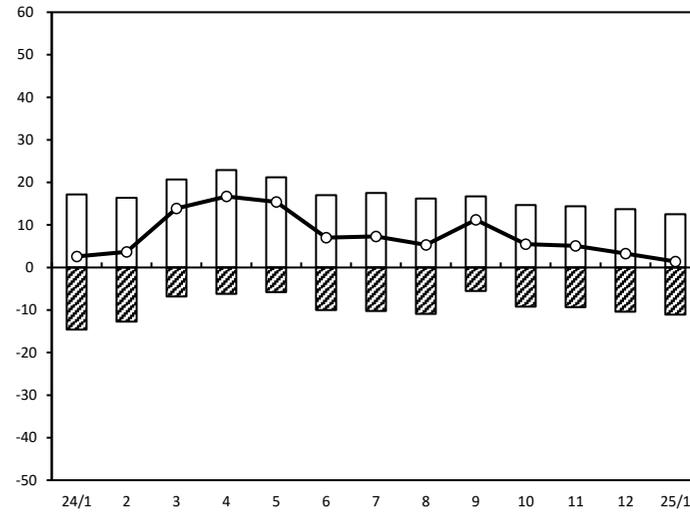
採算



年/月	増加	減少	DI
24/1	13.4	-17.4	-4.0
2	12.0	-16.4	-4.4
3	13.0	-9.1	3.9
4	13.3	-9.6	3.7
5	11.1	-11.1	0.0
6	8.7	-17.7	-9.0
7	9.9	-15.9	-6.0
8	8.9	-15.5	-6.6
9	6.2	-14.0	-7.8
10	7.9	-12.6	-4.7
11	8.6	-15.5	-6.9
12	7.2	-15.0	-7.8
25/1	8.1	-17.5	-9.4

(年月)

業界の業況

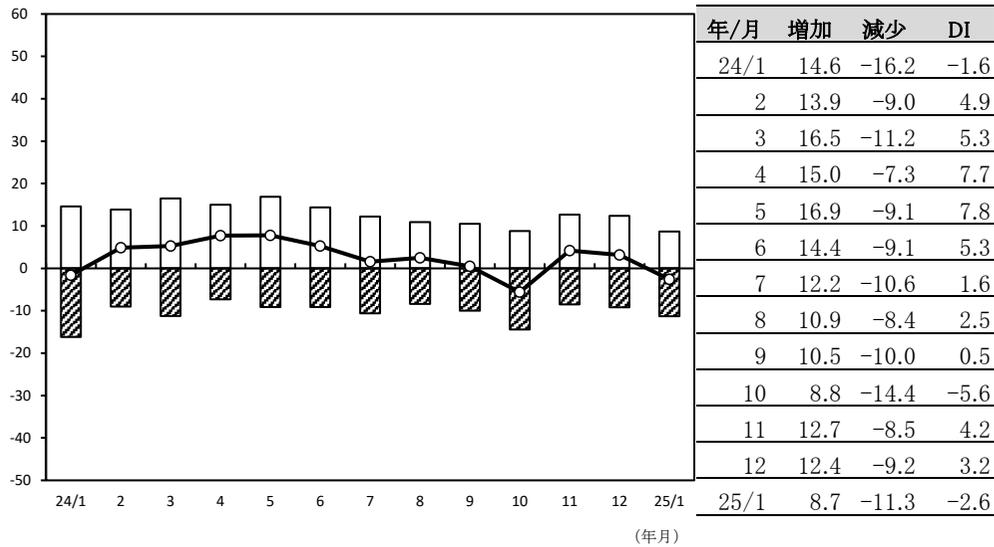


年/月	増加	減少	DI
24/1	17.2	-14.6	2.6
2	16.4	-12.7	3.7
3	20.7	-6.8	13.9
4	22.9	-6.2	16.7
5	21.2	-5.8	15.4
6	17.0	-10.0	7.0
7	17.5	-10.2	7.3
8	16.2	-10.9	5.3
9	16.7	-5.5	11.2
10	14.7	-9.2	5.5
11	14.4	-9.3	5.1
12	13.7	-10.4	3.3
25/1	12.5	-11.1	1.4

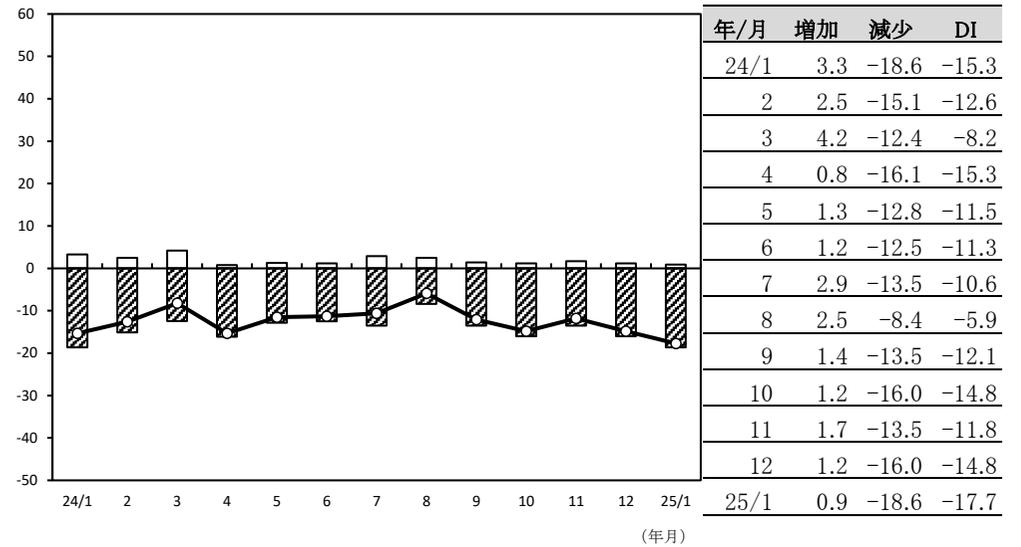
(年月)

サービス業【クリーニング】（前年同月比）

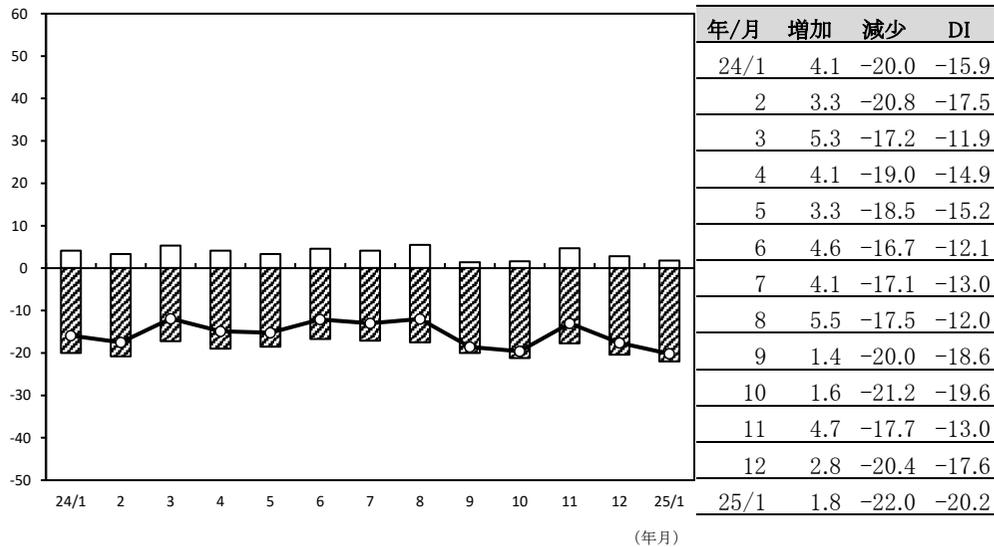
売上額



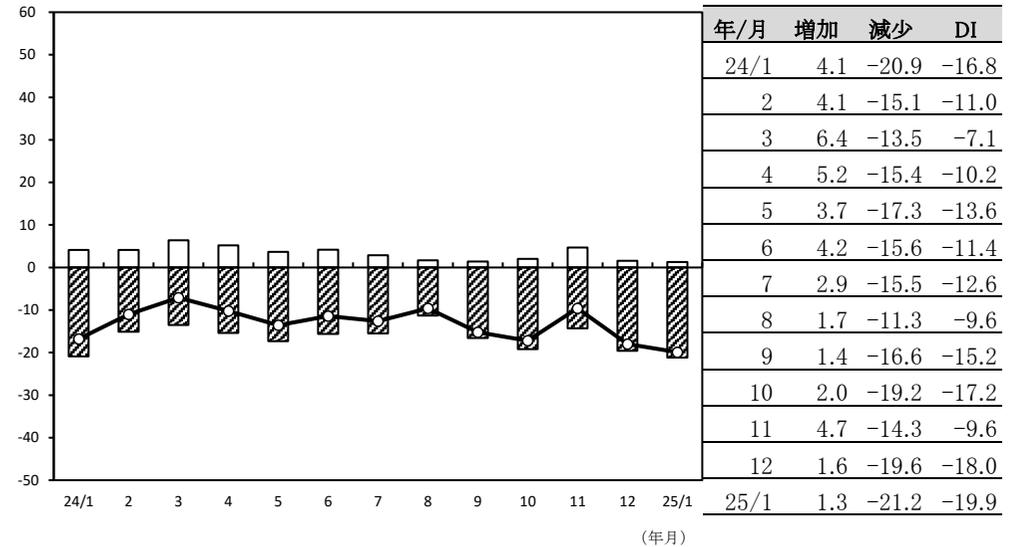
資金繰り



採算

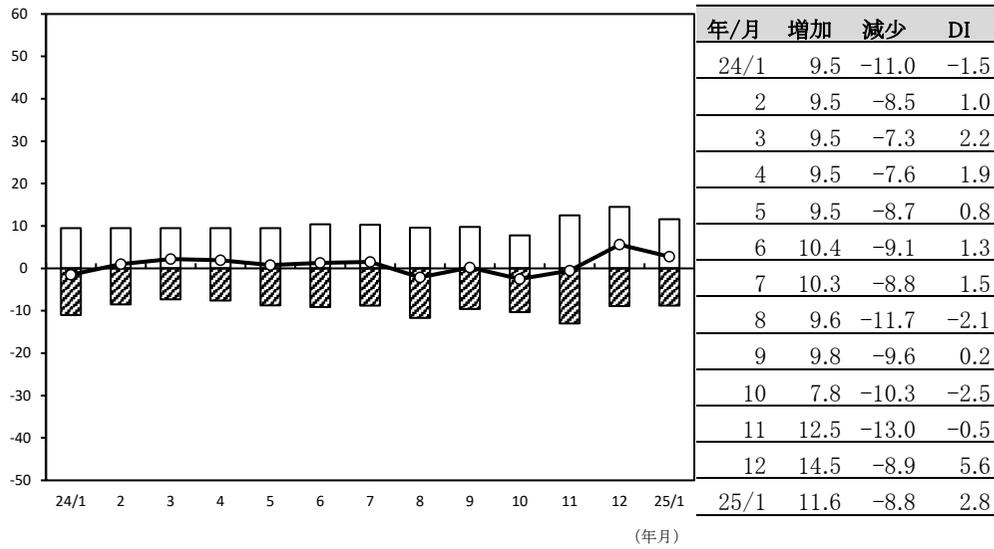


業界の業況

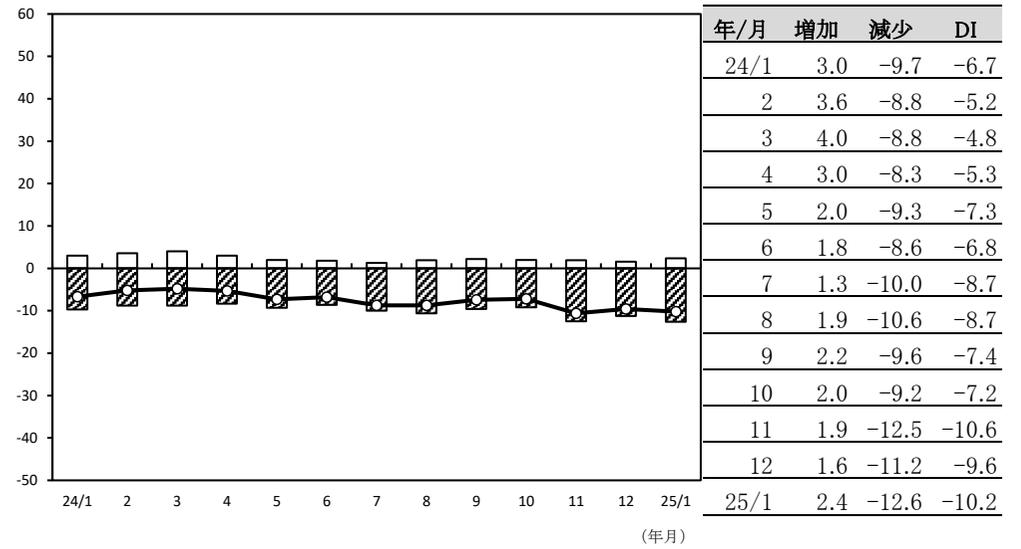


サービス業【理・美容】（前年同月比）

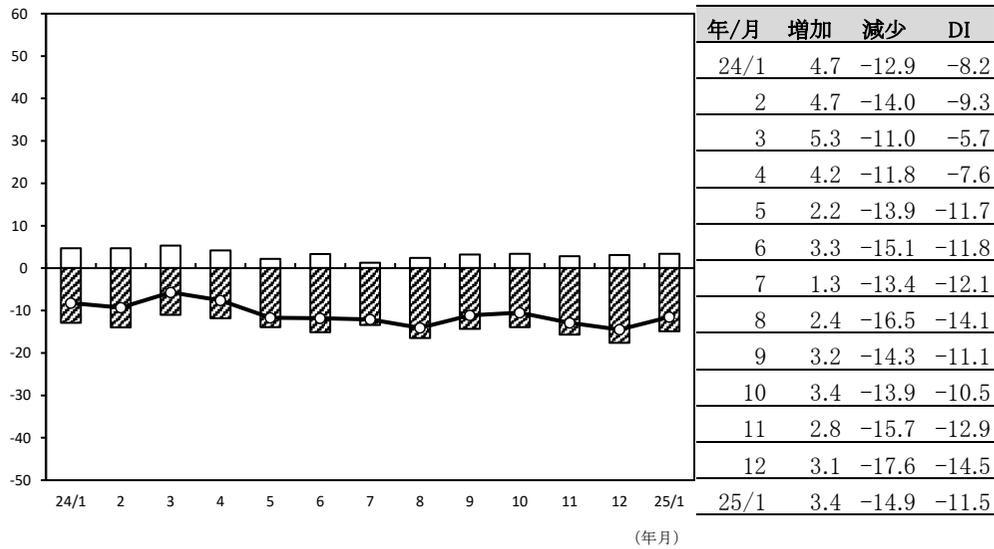
売上額



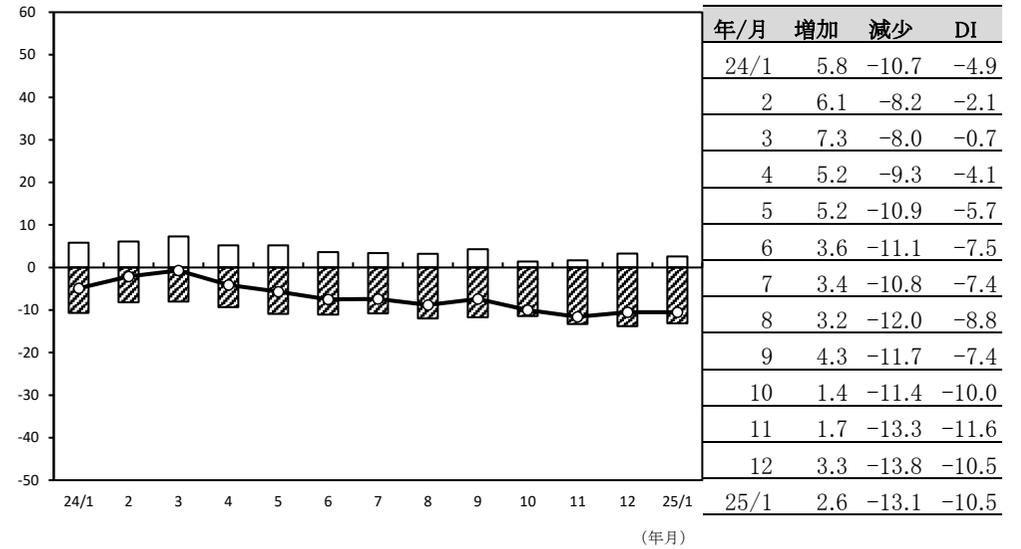
資金繰り



採算



業界の業況



小規模企業景気動向調査(1月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

毎年1月期は観光客が多い時期であり、ホテルなどに宿泊する人数が増えれば関係事業にも波及するため、比較的好調であった。今後観光のオフシーズンに向けた対策が必要。

(宮城県玉造商工会 鳴子事務所)

お米や野菜などの食糧品価格の物価は以前として高い水準ではあるが、消費行動は比較的好調。従業員への賃上げが達成できる企業の増加が景気回復のカギとなっている状況。

(群馬県みどり市商工会)

人材不足ではあるが、価格に転嫁しやすい環境は整ってきている。従前顧客ではなく新たな顧客を獲得することにより価格転嫁を図り、利益を獲得する事業者が増えてきている印象がある。

(千葉県香取市商工会)

本年1月上旬、アメリカのNYタイムズが2025年に行くべき52か所を発表し、富山市を30番目に選出した。記事で紹介された中心部の飲食店や美術館では来客数が急増し効果が出始めている。ビジネスチャンスとして富山県内全体の広がりやインバウンド客の増加を期待する声が上がっている。管内エリアへの経済波及効果はまだこれからといった感じ。

(富山県富山市北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

全体的に原材料高騰の影響により、商品やサービスはまだまだ上昇傾向にあるため、消費者は価格が安い店を選択するようになり、「それなり」で満足される方が多く見受けられる。

(青森県野辺地町商工会)

全業種において、エネルギーや物価高騰等により経営が厳しい状況です。

(岩手県大槌商工会)

嗜好品の消費意欲が減退している。賃金引上げの効果は地方では感じられない状況である。

(山形県南陽市商工会)

依然として、物価高騰からの経費圧迫による採算性の悪化が続いている企業が多い傾向がある。商工会としては、更なる価格転嫁等の指導も必要となってくると考えている。

(福島県保原町商工会)

長野県は全国で最もガソリン価格が高いと言われているが、その中でも木曾地域は特に高い。現在レギュラー1リットル200円台前半である。

(長野県木曾町商工会)

燃料関係および原材料価格等の高騰や消費者に関しても個人消費の低迷などが影響し、いまだ厳しい状況が続いている。また、人手不足も業界問わず問題となっており、今後の人員配置等の省力化に向けた対策が課題である。

(山梨県甲州市商工会)

物価が高騰しているが、消費者や取引先も同様に苦しいため、価格転嫁が思うように進まない。新規事業を考える事業者もいるが、コロナ禍のような行政の手厚い支援がないので、取組みを躊躇している。

(岐阜県御嵩町商工会)

円安の効果等によりインバウンドを中心とした観光客がコロナ禍以前より多く来島し、地域内全般活況であるが、資金繰りについては、コロナ禍での据え置き、特例が終了し金融機関に対応してもらえないため、苦しい状況に陥っている事業所がある。複数口の返済は経営を大きく圧迫するので、金融機関には柔軟な対応をしていただきたい。

(広島県宮島町商工会)

最低賃金引上げに伴う経費増加に対する経営悪化を憂慮する事業所が多い。最低賃金以上で雇用している事業所においても、従業員確保のため、さらに賃金引上げを実施している事業所がある。最低賃金まで引き上げた場合の助成はあるが、すでに最低賃金を達成しているがさらに引き上げる場合の助成制度は無く、要望する声も多い。

(徳島県上板町商工会)

物価高騰や人手不足が地域経済においても影響を与えていると思われる。小規模事業者の中にはもともと少人数雇用であったり、親族で協力して経営している事業者が多いため、人手不足の影響は中小規模の企業に比べ少ないのではないかとと思われる。一方、物価高騰については、明らかに事業者の利益に影響を与えていると思われるケースも見られるため、対策や支援施策等を希望します。

(福岡県岡垣町商工会)

材料の高騰と人手不足が深刻化。どちらもこれからの営業を左右する問題であり、早急な対策をおこなわなければならないが、なかなか打開できない。

(熊本県氷川町商工会)

物価上昇の影響を受け、利益が減少している。人件費があがるが、売上に転嫁できていない。

(大分県佐伯市番匠商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

物価高騰により価格改定を行った企業では、前年と比較し売上としては上昇しているが、人件費等の経費も増加しているため、採算や資金繰りとしては不変である。その中で機械関連では半導体受注が伸びを見せている。また、今後スマートフォンへの生成AI搭載が発表されており、対応する検査装置の受注が増えている状況である。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

食品製造業では、米価格の高止まりが続く中、正月向け商品の需要が一段落し、通常商品の販売が中心となっています。繊維工業では、冬物商品の販売が落ち着きを見せる一方で、春物商品の生産準備が進んでいます。機械金属製造業では、地域の事業者による電気自動車関連の受注が引き続き堅調で、新たな設備投資の動きも見られます。全体的には、原材料費の高騰が依然として経営の負担となるものの、地元需要の安定と新年度に向けた動きが景況感を下支えしています。

(茨城県稲敷市商工会)

仕入価格や諸経費など諸々の物価が上昇しているなか、一定の価格転嫁はできている様子はあるが、一方で経費の上昇分すべてを転嫁できているかどうかについては疑わしい。

(静岡県沼津市商工会)

繊維工業関連の事業者については、小ロットで複数の取引をもつ事業者は、仕入価格や人件費が増加しているものの、下請け法改正の効果で価格交渉が有利に進み、今後は売り上げ、採算ともに改善が見込まれる状況になっている。一方、単一取引で大量生産を行っている事業者は、過去に市場競争の激化や受注獲得競争の影響で、多くの企業が低価格での受注を行ってきたことで安価な価格設定が定着してしまった経緯があり、その結果、取引先との価格交渉が難航し、適正価格での受注が困難となっており、廃業する事業者も出てきた。

(京都府福知山市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

水産加工業は現時点では例年並みで安定した推移を見せているが、ホタテの漁獲量は減少が予測されているため、先行き不透明な状況となっている。

(北海道枝幸町商工会)

機械金属加工業については、物価及び燃料高騰等により利益が薄い状況が続いている。最低賃金上昇や初任給増加のニュースを見るが、小規模零細企業は世の中の流れにとってもついていけない。

(埼玉県東松山市商工会)

食品製造業は年末年始の需要により売上高は増加となったが、原材料高により採算は横這い。繊維製造業は寒さの影響もあり、売上高は増加傾向にある。機械金属製造業は、アメリカ関税の影響もあり生産調整を行う事業者が多い。

(石川県津幡町商工会)

原材料が高止まりしているため、価格転嫁や原材料の見直し、経費削減に積極的に取り組んでいる。それに加え人件費の負担も増加しており苦しい状況が続いている。

(福井県おおい町商工会)

原材料価格の高止まりが続いており、採算は思わしくない。前月の受注は好調であったが、当月は落ち込んだ。

(山梨県甲斐市商工会)

米の価格が高止まりしており、食料品製造業では価格改定をしたものの、従前の利益確保には至っていない。

(静岡県岡部町商工会)

時給の増加に伴う人件費の高騰はやむを得ないものの利益圧迫が非常に厳しい。

(兵庫県宍粟市商工会)

■印刷業: 郵便代金の見直しの時期が年賀状の注文時期と重なったため、年賀状じまいに拍車をかけた。結果、年賀状印刷の依頼が殆ど無かった。毎年、年賀状の注文用カタログを作っていたが、需要回復が見込まれないため、来年度は取りやめる。また、仕入先より請求書の発送方法について、郵送だけでなくメールでの通知も取りやめると連絡があった。来月からは相手先のHPにログインし、自分で請求額等を確認し支払いを行う。事務処理の手間が増える。■鉄工業: 職人不足の影響により協力先から短時間での溶接作業員としての派遣依頼があり対応している。

(岡山県瀬戸内市商工会)

食料品製造業は仕入単価が増加しており、それ以外は特に変わらずである。

(高知県四万十町商工会)

製造業全般において、諸経費の高騰が経営コストを押し上げ、利益を圧迫している。さらに、最低賃金の上昇に伴い人件費も上昇傾向にあり、今後は雇用の見直しを含めた経営強化が必要である。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

仕入値が上昇しているが、一部商品に価格転嫁できている(食料品)。半導体不足により、供給過多になっている。また、依然として賃金上昇により採算が厳しい(機械金属製造業)。

(鹿児島県日置市商工会 日吉支所)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

昨年は、暖冬の影響により除雪業務がほとんどない状況であったが、今年はかなりの積雪により稼働状況は良好のようである。降雪地域の建設業は、冬場の収入はほとんど除雪作業に依存している状況にあることから、今期は安定的な収入に繋がっている。

(福島県会津美里町商工会)

全体的に受注は引き続き増加傾向。ただし人手不足と原材料の調達コストも増えており、下請け企業ほど利益確保に苦慮している。

(東京都小金井市商工会)

当地域は豪雪地で冬期は除雪がメインとなるが、降雪量は例年並みで少雪だった昨年より多いため、除雪の売上は前年同月より増加している。

(新潟県妙高市商工会)

人件費の圧迫により、機械設備の導入に資金が回りにくい中ではあるが、機械設備を導入することで人件費の削減を可能にしたいと考え、マル経融資等を活用していきたいと考えている事業者もある。

(三重県伊勢小俣町商工会)

売上や受注は増加しており、堅調に推移している。一方で、人件費の上昇が続いており、コスト負担の増加が見られる。また、人手不足の影響も大きく受けている。業界全体としては、一定の回復基調にあるものの、コスト上昇への対応が引き続き課題となっている。

(長崎県諫早市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

年末年始休暇や天候により現場作業の稼働日数が限られたことにより、売上高はやや減少、資金繰りはやや悪化傾向。依然として、人材不足により外国人労働者の採用を検討するも費用負担が大きく採用を躊躇する事業者もいる。

(宮城県東松島市商工会)

建設業においては「材料価格の上昇」、更に「最低賃金の上昇」が厳しい財務状態を招き、売上高の減少と利益の減少に繋がっている。他の業種でも見受けられるように「雇用の確保」も課題の一つである。雇用が確保できても、ある程度技術経験を重ねた熟練技術を要すまで確保・保持することが厳しい状況でもある。

(東京都清瀬商工会)

建設業関連の事業者は、資材価格の高騰や人手不足の深刻化により、利益率の低下が続いている。公共工事は国や自治体の予算縮小の影響で抑制傾向にあり、大手は一定の受注を確保しているものの、小規模事業者は仕事の確保が難しく、廃業や倒産が増えている。民間工事でも高コストを理由に発注の先送りが目立ち、受注競争が激化している。

(長野県臼田町商工会)

物価高や燃料費高騰で利益確保が厳しい。一方で人手不足で人員確保のためには給料の引上げが必要であるが、その原資を捻出することができない。価格転嫁したくても物価高による市場低迷で個人・法人ともに節約志向の高まりで難しい。

(岐阜県海津市商工会)

一般消費者や中小・小規模企業を主要な顧客とする築板金業においては、財布のひもは固く、資金繰りの不安もあるため、定期的なメンテナンスの修繕やリフォームを我慢したり先延ばしする傾向にある。そのため、例年と比較して受注が深刻に激減している。見積もりの段階で二の足を踏まれることも多く、このような状況では、価格転嫁も十分にできず、特に、外注費の上昇は採算に厳を大きく圧迫している。

(愛知県飛島村商工会)

建築業においては、堅調であったリフォームの需要も近年は減り始めている。しかしながら、小規模リフォームは原価率が低い工事が多いため、利益自体は確保できている事業者もある。

(岡山県阿哲商工会)

住宅施工需要により分野によっては好調。人手不足が依然として喫緊の課題。また、個人事業においてはインボイス登録による負担増の影響が顕著に。

(山口県山口県央商工会 秋穂支所)

受注件数も増加している傾向にあるが、物価高騰による仕入れ単価の上昇や、最低賃金引上げによる賃金の負担増による影響が大きく、不変、やや悪化状況にある。

(徳島県阿波市商工会)

建築業においては原材料高騰のため新築価格が上昇。金利の上昇もあり、積極的な購入が控えられている。改築が主となっていることから売上、利益ともに伸びが見られない。

(鹿児島県志布志市商工会)

工事高は増加しているものの、人件費及びその他の経費が増加傾向にあり、利益があまり見込めていない状況である。

(沖縄県北中城村商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

各地のイベントに合わせて、県外客も多くみられるようになり、コロナ禍以降のこの時期としては比較的悪くはないとのコメントが多かった。

(秋田県よこて市商工会)

利根町は、留学生受け入れの大学もあり、外国人住民が急激に増えてきている。そのため、移動手段である自転車及び食料品(特に米)の売上が急増し、業種によっては外国人への販売による売上増加の影響が出てきている。

(茨城県利根町商工会)

家電小売業において、東京都が行うゼロエミッション事業による値引きが大型家電の入替の決断の理由となっているケースが多い実感があるとのこと。

(東京都日の出町商工会)

衣料品小売業においては、気温低下で1月も冬物の衣類の売れ行きが好調。物価高騰や送料負担もあるものの、採算はやや好転の状況にある。しかし大手ネットショッピングサイトでの購入も増加しているため、厳しい状況にはある。

(鹿児島県知名町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

廃業が特に多いが、地区内での創業・承継が極めて少ない。既存の商店は今後減少し続ける見込みである。他の業種以上に事業環境の変化に対応する必要があると考える、商工会でも具体的な支援をしていく計画である。

(青森県今別町商工会)

衣料品小売関連の事業者は、商品券効果で先月に引き続き昨年同月比で売上は増加しているが、物価高騰の影響で被服購入の優先順位は低くなっている状況。食料品小売関連の事業者は、米の大幅な値上がりが見られる状況。耐久消費財関連の事業者は、装飾品への購買意欲の低迷が続いている状況である。

(秋田県かつの商工会)

食料品小売業では、物価上昇の影響で、消費者の節約志向が強まり、地元商店など購入品数の減少が見られた。

(栃木県壬生町商工会)

衣料品店では、地域内の人口減少や高齢化による売上の減少が続いている。大型店や全国チェーン店に押され年々厳しい状況が続いている。食料品小売業は野菜の価格高騰により消費者の買い控えがあり厳しさを増している。地方の小売店は壊滅状況にあり廃業が進んでいる。

(群馬県しづかわ商工会)

実質賃金がなかなか上向かない中で野菜、米の価格上昇までもが継続し、消費意欲のさらなる低下要因となっている。

(新潟県寺泊町商工会)

常連客が高齢の為、自然減となっている。新規顧客を取りたいが、若者層はネットなどでの買い物が多くなっているため難しい。魚が全般的に取れない為、仕入れ単価が上がってきている。土肥桜の開花とともに日帰り観光客が増え、土産物などは売上が少し伸びた。ただし、民宿等で素泊まり営業が増えてきているため、食品の購入が減っている。

(静岡県伊豆市商工会)

食品を始め、物価高の影響が仕入額に顕著に表れている。上昇の振幅が激しく、安易に価格転嫁できない。

(滋賀県湖南市商工会)

食料品青果販売関連事業者は、天候不順による不作が続き、仕入れ量の減少が続いている。価格も上昇しているため買い控えも発生している。

(兵庫県佐用町商工会)

食料品小売業では、近隣店舗の廃業が進む中、生き残った店舗へ顧客が集中し、一時的な売上増が見込まれる反面、廃業店舗がかつて取り扱っていた商品を扱う余裕がなく、品揃えの充実に苦戦している。地域住民の多様なニーズに応えるべく、仕入の見直しなど課題を抱えている。

(島根県石中央商工会)

鮮魚小売業では、鮮魚の仕入れ価格が高騰しており売価も高くなったため、従来よりも安価な鮮魚にシフトしている。タイヤ販売業では、タイヤ価格の上昇や経費の増加で売上の減少と採算悪化で厳しい。

(香川県高松市中央商工会)

コロナ流行により需要が減少し続けていた中高年向け高価格帯の婦人服小売業者が、今後の採算が見込めず従業員を解雇することになり、在庫が無くなり次第閉店することを決断された。一方、服飾雑貨や若年層向けのセレクトショップは業況が不変～微増で推移している。

(福岡県志免町商工会)

需要については大きな変更はないものの、材料等の原価上昇があり大きな影響というよりは小さな影響がずっと続いている印象。

(宮崎県高千穂町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

宿泊業においては冬場ならではの観光地への来場もあり、一定の客数がある。しかし、自社でイベントを開催するなどの一部業者は好調を維持しているものの、待ちの姿勢の業者に関しては依然として宿泊者が少ない。

(宮城県みやぎ北上商工会 登米)

旅館…現在、行政(由利本荘市)が行っている「冬期宿泊促進事業」のスキー客へのリフト券利用割引により、売上増加。過去にも宿泊助成を行った際、売上に寄与することが証明されており、物価が高騰している昨今、こうした助成金事業は宿泊業にとって恩恵をもたらしていることから行政の支援協力が必要である。洗濯…前年同月と比べ、売上高は横ばい傾向。また、今月から電気代等の経費コストは上昇し続けており、厳しさを増している。理・美容…店舗内のリフォームと美容設備の新規導入及び外装の修繕で、設備資金の融資を申込み。原材料高騰の影響もあり想定していた以上に設備投資が大きくなるため、価格転嫁等検討が必要だと感じている。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

理美容業は1月の成人式関係が昨年に比べ好調であったため、売上額も好調であった。

(栃木県うつのみや市商工会)

タイミーを活用するようになった。アルバイトは学生が多いが、タイミーは年齢層は高いが仕事になれている人が多く、夜遅くまで手伝いをしてくれるため使いやすく助かっている。

(岐阜県川辺町商工会)

旅館・宿泊所関連の事業者は、前月と同様、宴会需要は好調。地域的に観光需要が高く業界については引き続き好調である。

(熊本県阿蘇市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

洗濯業関連の事業者は、物価高騰の影響により仕入コストの上昇が続き、採算に影響が見られる。

(北海道新ひだか町商工会)

年末年始は売上増加したが、食材を中心に仕入れコストの増加が大きく影響している。

(茨城県大洗町商工会)

旅館業は年始・連休を中心に価格転嫁を図るものの、仕入単価や燃料価・物価の上昇に追いつかず採算・資金繰りが悪化している印象。洗濯業・理美容業は、BtoCのウェイトが多く、価格転嫁には限界もあり、業績悪化傾向が強い。

(群馬県嬬恋村商工会)

美容院であるが、同業種が多いため競争も多く厳しい状況である。人件費や光熱費の影響が大きく、利益がさがってきている。募集をかけているが応募がない。これ以上条件を上げての募集は厳しく人手不足で売り上げも伸びず、今後経営が困難な状況になることが予想される。

(神奈川県寒川町商工会)

前年同月は令和6年能登半島地震が発生し通常期の比較とはならないが、宿泊業は地震対策需要(他都道府県からの応援公務員)がなくなったものの観光需要が戻らないため景況は大きく悪化している。洗濯業は地震による中能登・奥能登地区の長期断水による需要がなくなり大きく悪化している。

(石川県宝達志水町商工会)

宿泊業については、売上は少しずつ回復傾向にある。価格改定を行ったが光熱費、食事等の原材料費の高騰により利益を圧迫している。勤務体系が変動的のため人材確保が難しい傾向にある。人材不足はなかなか解消されない。理美容業については、物価高騰の影響を受け来店頻度が減少傾向にある。

(兵庫県丹波市商工会)

サービス業の旅館では、常連客の利用が安定的にあり、売上は横ばいだが、仕入れ価格は上昇している。洗濯では、毎年1月は売上が落ちるが、石油高騰も重なり昨年よりも売上が1割減。理・美容では、光熱費・美容水剤が昨年より高いが、価格転嫁はできていない。昨年より雪の日が多い為来店サイクルが長くなっている。

(鳥取県大山町商工会)

旅館(飲食)では、昨年より新年会などの需要が増えた様子であった。価格改定を行ったが客足は変わらない。仕入れ値上昇の頻度が販売価格転嫁より多いため、販売価格を上げても利益率改善には至らない。

(岡山県真庭商工会)

旅館関係事業者は、島に店舗があり今年は海の状況が悪く売上減少に繋がった。さらに野菜や米が1.5倍~2倍と高騰しており、採算が悪化。そこで自社開発の商品や島の特産品などを販売することで、売り上げの安定化を図っている。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)

カラオケ業の経営相談があり、なかなかコロナ前から客足が戻らないとのこと。大分県でカラオケを控えるという流れがあり、現在なかなか売上が戻っていない状況。コロナ前の借入が返済できず、返済を止めているが、今後返済していくのは厳しいと思う。

(大分県日出町商工会)